

平成22年度 保健福祉事務所年報

(平成23年版)



伊賀庁舎のマスコットキャラクター 「もーにんちゃん」(左)と「おーちゃん」(右)

三重県伊賀保健福祉事務所

併置機関 伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地 三重県伊賀庁舎内

(保健衛生室)

企画福祉課	TEL 0595-24-8070
健康増進課	TEL 0595-24-8045
地域保健課	TEL 0595-24-8076
衛生指導課	TEL 0595-24-8080

FAX 0595-24-8085

〔ホームページ URL〕 <http://www.pref.mie.lg.jp/GHOKEN/HP/>

〔Eメールアドレス〕 ghoken@pref.mie.jp

目 次

1	管内概況		
	(1) 伊賀保健福祉事務所の概要	1
	(2) 相談等日程	2
	(3) 管内の状況	2
	(4) 人口動態統計	7
2	「県民しあわせプラン“戦略計画”」における事業実績		
	第3節 安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造		
	311 防災対策の推進		
	31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進		
	1 災害拠点病院	11
	324 食の安全とくらしの衛生の確保		
	32401 食の安全・安心の確保		
	1 食品衛生	12
	32402 生活衛生営業の衛生水準の確保		
	1 生活衛生	16
	32403 医薬品等の安全確保		
	1 薬事	17
	32404 薬物乱用防止対策の充実		
	1 薬物乱用防止対策	20
	32405 人と動物との共生環境づくりの推進		
	1 狂犬病予防	21
	2 動物愛護	21
	325 感染症対策の推進		
	32502 感染症予防および治療体制の充実		
	1 感染症の予防事業	22
	2 エイズ対策事業	23
	3 結核予防事業	24
	331 健康づくり活動の推進		
	33101 健康づくり活動の推進		
	1 健康づくり総合推進事業	28
	2 保健師活動状況	28
	3 教育・研修	28
	33102 食環境の整備		
	1 健康食育推進事業	29
	2 栄養施行事務事業	31
	33103 こころの健康づくりの推進		
	1 こころの健康づくり事業	32
	2 自殺予防対策	33

3 3 2	子育て環境の整備		
33201	保育・放課後児童対策等の充実		
1	保育所	34
2	管内の児童福祉施設(保育所を除く)の状況	34
33203	母子保健対策の推進		
1	母子保健事業	35
2	母体保護事業	37
3 3 3	地域とともに進める福祉社会づくり		
33301	地域福祉活動の推進		
1	地域福祉	37
2	民生委員・児童委員	38
3	ボランティア活動	38
3 4 1	医療体制の整備		
34101	患者本位の医療の推進		
1	医務	39
34103	救急・へき地医療体制の整備		
1	地域救急医療対策事業	40
2	救急告示病院	40
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進		
1	献血推進	41
2	骨髄バンク	41
34106	難病患者等の支援		
1	原子爆弾被爆者対策事業	42
2	難病対策事業	43
3	難病在宅ケア事業	45
34107	医療分野の人材確保		
1	看護学生等保健所実習指導	48
3 4 3	高齢者保健福祉の推進		
34301	介護保険制度の円滑な運営		
1	介護保険制度	49
34302	介護基盤の整備促進とサービスの質の向上		
1	老人保健福祉施設等の設置状況	51
34303	在宅生活支援体制の充実		
1	老人福祉施設	52
3 4 4	障がい者保健福祉の推進		
34401	障害者自立支援法制度の円滑な推進		
1	障がい者福祉	54
34404	精神障がい者の保健医療の確保		
1	精神保健福祉事業	58

事業実績は、次のページの「県民しあわせプラン」の政策・事業体系に沿ってまとめました。

「県民しあわせプラン“戦略計画”」の政策・事業体系

参考:「県民しあわせプラン」(2004年3月策定)

「県民しあわせプラン」は、おおむね10年先を見すえた三重県の方向を示す新しい総合計画であり、基本理念である「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」を県民と行政が協働で築くための長期的な道筋を示すものです。

また、この「県民しあわせプラン」を的確に進行管理するための中期実施計画として、「県民しあわせプラン“戦略計画”」を策定しており、2004年～2006年度を「第1次戦略計画」、2007年～2010年度を「第2次戦略計画」と位置づけています。

参考:「県民しあわせプラン“戦略計画”」の政策・事業体系

「県民しあわせプラン」では、基本理念に基づくめざすべき社会を実現するための「政策展開の基本方向(五つの柱)」を設定しています。

「県民しあわせプラン“戦略計画”」の政策・事業体系は、この「政策展開の基本方向(五つの柱)」のもとに、県の仕事を目的と手段の関係で整理したものです。

〔政策展開の基本方向(五つの柱)〕

一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり

【伊賀保健福祉事務所が関係する事業がないため省略】

〔政策展開の基本方向(五つの柱)〕

安心を支える雇用・就業環境づくりと元気な産業づくり

【伊賀保健福祉事務所が関係する事業がないため省略】

〔政策展開の基本方向(五つの柱)〕

安全な暮らしの確保と安心できる生活環境の創造

【伊賀保健福祉事務所が関係する部分を抜粋】

〔政策〕	〔施策〕	〔関係基本事業〕	〔頁〕
1 災害に強い県土づくりの推進	1 防災対策の推進	31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進	11
2 安全な生活の確保	4 食の安全とくらしの衛生の確保	32401 食の安全・安心の確保	12
		32402 生活衛生営業の衛生水準の確保	16
		32403 医薬品等の安全確保	17
		32404 薬物乱用防止対策の充実	20
		32405 人と動物との共生環境づくりの推進	21
	5 感染症対策の推進	32502 感染症予防および治療体制の充実	22

3 健やかな暮らしを育む ささえあい社会の構築	1 健康づくりの推進	33101 健康づくり活動の推進	----- 28	
		33102 食環境の整備	----- 29	
		33103 こころの健康づくりの推進	----- 32	
	2 子育て環境の整備	33201 保育・放課後児童対策等の充実	----- 34	
		33203 母子保健対策の推進	----- 35	
	3 地域とともに進める福祉社会づくり	33301 地域福祉活動の推進	----- 37	
	4 安心を支える医療・福祉の推進	1 医療体制の整備	34101 患者本位の医療の推進	----- 39
			34103 救急・へき地医療体制の整備	----- 40
			34105 骨髄バンク、臓器移植等の推進	----- 41
34106 難病患者等の支援			----- 42	
34107 医療分野の人材確保			----- 48	
3 高齢者保健福祉の推進		34301 介護保険制度の円滑な運営	----- 49	
		34302 介護基盤の整備促進とサービスの質の向上	----- 51	
		34303 在宅生活支援体制の充実	----- 52	
4 障がい者保健福祉の推進		34401 障害者自立支援法制度の円滑な推進	----- 54	
		34404 精神障がい者の保健医療の確保	----- 58	

〔政策展開の基本方向(五つの柱)〕

持続可能な循環型社会の創造

【伊賀保健福祉事務所が関係する事業がないため省略】

〔政策展開の基本方向(五つの柱)〕

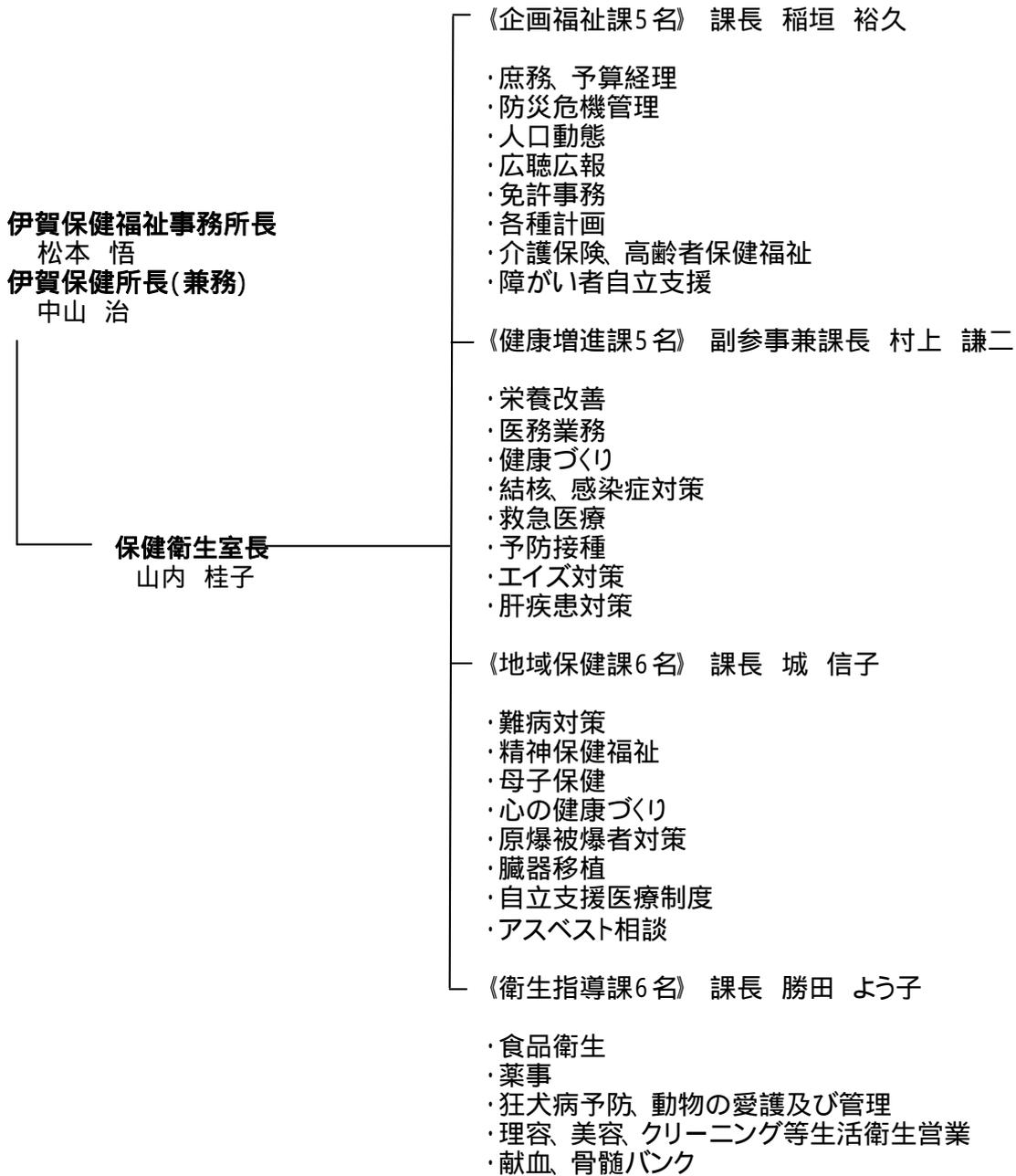
人と地域の絆づくりと魅力あふれるふるさと創造

【伊賀保健福祉事務所が関係する事業がないため省略】

1 管内概況

(1) 伊賀保健福祉事務所の概要(平成23年度体制)

伊賀保健福祉事務所組織及び所掌事務



(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日			
火曜日	エイズ・肝炎の相談・検査 (要予約) 9:00～11:00		県 伊賀庁舎
水曜日			
木曜日	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約) (第2週)9:00～12:00		県 伊賀庁舎
	結核検診 (第2・4週)12:30～13:30	精神保健相談(要予約) (第3週)14:00～16:00	県 伊賀庁舎
金曜日			

(3) 管内の状況

ア 各市の状況

種別 市	平成17年国勢調査		平成22年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人/km ²)		
計	62,937	182,779	687.93	64,396	177,491	258.0	102.3%	97.1%
伊賀市	34,587	100,623	558.17	34,915	97,207	174.2	100.9%	96.6%
名張市	28,350	82,156	129.76	29,481	80,284	618.7	104.0%	97.7%

イ 管内の概況

平成16年11月1日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の6市町村が合併し、「伊賀市」が誕生したことにより、管内は名張市との2市体制となっています。

(ア) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の西北部、関西圏と中部圏のほぼ中央に位置するとともに、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けている地域です。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、東の鈴鹿、布引山系、西の笠置山系、南の室生火山群、北の信楽高原と標高500～800mの山々に囲まれ、総面積は687.93km²で、県土の約12%にあたります。

山地が約62%(421.37km²)を占めますが、盆地内は標高130～160mで、柘植川、服部川、木津川、名張川が流れ、伊賀市街、名張市街などを潤し、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

伊賀地方の気候は、その位置と地形から内陸盆地特有の気候です。気温は年平均14前後で、県内でも比較的低温、寒冷地には当たりませんが、夏と冬や朝と夕の気温差が大きい内陸性気候の特徴を見せています。また、年間降水量は1,400mm程度と少なく、地形的な要因から夏期の雷及び春秋の霧の発生が多いところです。

(イ) 人口

伊賀地域の人口は、平成22年10月1日現在177,491人であり、県の総人口に占める割合は約1割です。

昭和40年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和55年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、特に名張市と旧青山町においては、昭和55年以降の人口の増加が顕著です。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、伊賀地域の人口は平成12年をピークに僅かずつではありますが減少傾向に転じています。

また、管内の65歳以上の老年人口は、平成22年10月現在で44,799人で、総人口に占める割合は、25.2%に達し、全県の老年人口の比率24.3%を上回っています。

(ウ) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道(亀山市～天理市)、国道25号(四日市市～大阪市)、国道163号(大阪市～津市)、国道165号(大阪市～津市)、南北幹線として、国道368号(伊賀市～多気町)、国道422号(大津市～紀北町)の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ伊賀コリドールロードの整備が進められています。

交通機関は、鉄道として東西に、北部のJR関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道が通じています。また北東部にはJR草津線が通っています。

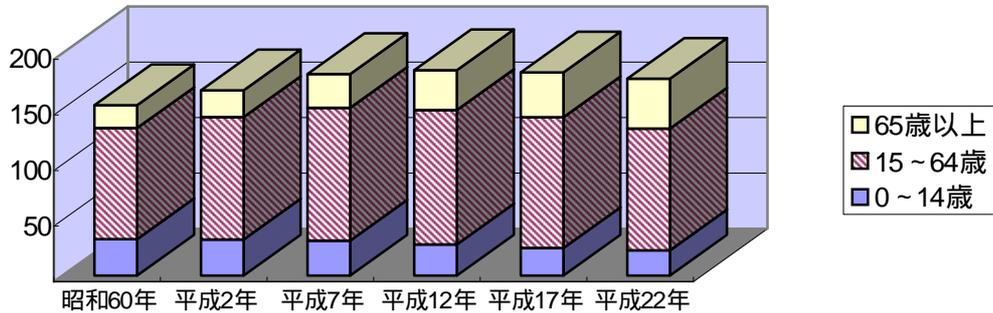
このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。またJR関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。



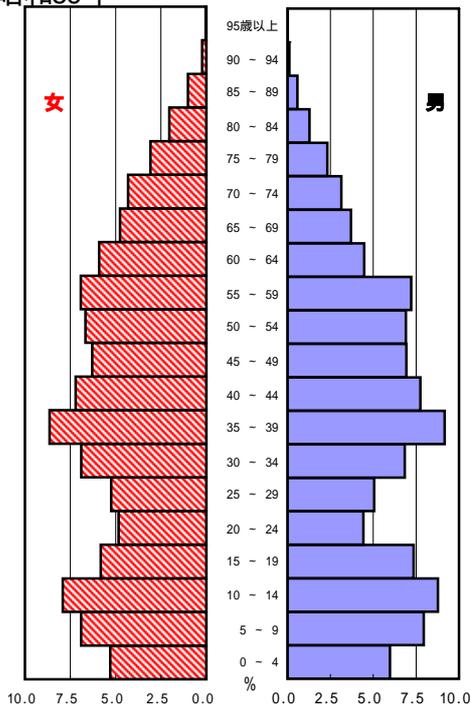
(工) 管内人口の推移(各年10月1日現在)

	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年
計	153,320	166,685	181,348	184,831	182,779	177,491
伊賀市 (旧上野市)	60,812	60,242	60,986	61,494	100,623	97,207
名張市	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156	80,284
伊賀市 (旧伊賀町)	10,214	10,256	11,154	11,014		
伊賀市 (旧島ヶ原)	3,089	3,012	2,934	2,753		
伊賀市 (旧阿山町)	8,335	8,459	8,500	8,423		
伊賀市 (旧大山田)	5,729	5,750	6,186	5,984		
伊賀市 (旧青山町)	8,667	10,033	11,675	11,872		

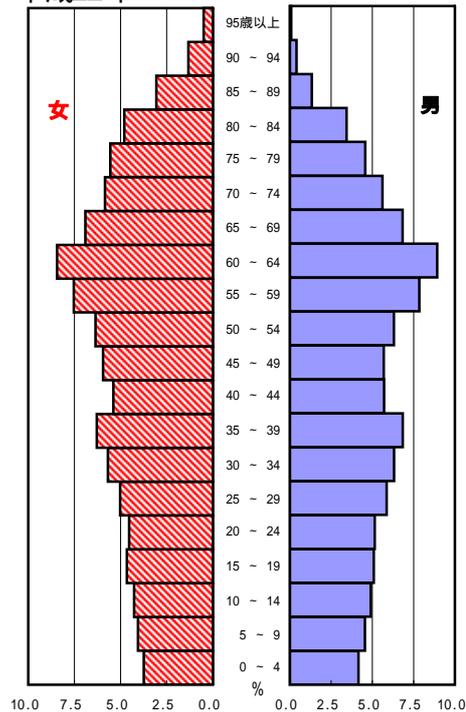
3区分別割合の推移



【管内の人口ピラミッド】
昭和60年



平成22年



(オ) 管内市町村の人口構成(概数)

平成22年10月1日現在

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口(18歳未満人口)				
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢 人口(15～ 64歳)	老年人口 (65歳以 上)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	計
管内	177,491	22,724	109,570	44,799	8,411	9,308	5,005	5,452	28,176
伊賀市	97,207	12,164	58,146	26,733	4,493	4,932	2,739	2,952	15,116
名張市	80,284	10,560	51,424	18,066	3,918	4,376	2,266	2,500	13,060
三重県	1,854,742	253,174	1,142,275	447,103	94,006	104,675	54,493	55,983	309,157

年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しない。

平成22年10月1日現在

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0～14 歳)	生産年齢 人口(15 ～64歳)	老年人口 (65歳以 上)	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化指 数
管内	12.8	61.7	25.2	20.7	40.9	61.6	197.1
伊賀市	12.5	59.9	27.5	20.9	46.0	66.9	219.8
名張市	13.2	64.2	22.6	20.5	35.1	55.7	171.1
三重県	13.7	61.9	24.3	22.2	39.1	61.3	176.6

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0～14歳)}}{\text{生産年齢人口(15～64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

管内人口の年齢構成は高齢化が進んでおり、老年人口割合は25.2%となっている。伊賀市では27.5%と三重県の値を上回っているが、名張市は22.6%と下回っている。

管内の年少人口指数については三重県の値を下回っているが、老年人口指数、老年化指数についてはいずれも三重県の値を上回っている。

(カ) 社会福祉施設の状況

(平成23年4月1日現在)(単位 箇所)

区 分	伊賀市	名張市	計	
児童福祉施設 (事業所)	助産施設	1	0	1
	児童養護施設	0	1	1
	知的障害児施設	0	1	1
	児童デイサービス事業所	0	3	3
	短期入所事業所	0	1	1
	児童館	3	3	6
	保育所	36	15	51
老人福祉施設 (事業所)	養護老人ホーム	3	1	4
	特別養護老人ホーム	9	6	15
	老人短期入所施設	9	6	15
	老人福祉センター	1	2	3
	ケアハウス	1	3	4
	デイサービスセンター	36	17	53
障害福祉施設 (事業所)	点字図書館	1	0	1
	盲人ホーム	1	0	1
	知的障害者入所更生施設	0	0	0
	知的障害者更生施設(通所)	0	0	0
	知的障害者授産施設(通所)	3	0	3
	障害者小規模作業所	0	0	0
	生活介護事業所	5	10	15
	短期入所事業所	2	6	8
	就労移行支援事業所	2	1	3
	就労継続支援A型事業所	2	0	2
	就労継続支援B型事業所	8	8	16
	自立(生活)訓練事業所	1	0	1
	共同生活援助事業所	2	1	3
	共同生活介護事業所	5	4	9
	施設入所支援事業所	1	3	4
指定相談支援事業所	1	2	3	

(4)人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成21年の人口動態(確定数)の概況は次のとおりである。

表1 人口動態総覧 (実数、率) 各市別

平成21年1月1日～12月31日

	各市 (県・全 国)	人口 (10月1日現在)	出生			低体重児(再掲)			死亡			乳児死亡(再掲)		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	128,057,352	1,070,035	548,993	521,042	102,671	46,642	56,029	1,141,865	609,042	532,823	2,556	1,441	1,115
	三重県	1,854,724	15,614	7,983	7,631	1,440	694	746	17,590	9,154	8,436	37	20	17
	管内	177,491	1,408	712	696	137	60	77	1,805	971	834	3	2	1
	伊賀市	97,207	742	381	361	84	32	52	1,139	586	553	3	2	1
	名張市	80,284	666	331	335	53	28	25	666	385	281	-	-	-
率	全国		8.5	9.0	8.1	96.0	85.0	107.5	9.1	9.9	8.3	2.4	2.6	2.1
	三重県		8.6	9.0	8.2	92.2	86.9	97.8	9.6	10.3	9.0	2.4	2.5	2.2
	管内		7.9	8.3	7.5	97.3	84.3	110.6	10.1	11.3	9.0	2.1	2.8	1.4
	伊賀市		7.6	8.0	7.1	113.2	84.0	144.0	11.6	12.3	10.9	4.0	5.2	2.8
	名張市		8.3	8.6	8.0	79.6	84.6	74.6	8.3	10.0	6.7	-	-	-
		率の算出方法	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生千 対	男子 出生 千対	女子 出生 千対	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対	女子 出生 千対

人口は平成22年10月1日現在

低体重児は出生体重2,500g未満のもの。乳児死亡は生後1年未満の死亡。

平成21年1月1日～12月31日

	各市(県・全国)	新生児死亡(再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡				
実数	全国	1,254	27,005	12,214	14,791	4,519	3,645	874	707,734	253,353	71,830	
	三重県	17	339	156	183	53	43	10	9,720	3,438	1,976	
	管内	1	25	14	11	3	2	1	920	333	397	
	伊賀市	1	15	7	8	3	2	1	491	175	397	
	名張市	-	10	7	3	-	-	-	429	158	0	
率	全国	1.2	24.6	11.1	13.5	4.2	3.4	0.8	5.6	2.0	0.6	1.37
	三重県	1.1	21.2	9.8	11.5	3.4	2.7	0.6	5.3	1.9	1.1	1.40
	管内	0.7	17.4	9.8	7.7	2.1	1.4	0.7	5.1	1.9	2.2	1.39
	伊賀市	1.3	19.8	9.2	10.6	4.0	2.7	1.3	5.0	1.8	4.0	1.41
	名張市	-	14.8	10.4	4.4	-	-	-	5.3	2.0	0.0	1.37
	率の算出方法	出生千対	(出産)千対			出生千対			人口千対			

は減を示す。
 新生児死亡は生後4週未満の死亡。
 早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
 死産は妊娠12週以後の死産の出産。
 自然増加は出生数 - 死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{49}{\text{年令15}} \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

(ア) 出生

管内の出生数は前年より24人増加し、出生率は7.9であった。市別にみると、伊賀市・名張市とも県の値8.6を下回っている。

(イ) 死亡

管内の死亡数は1,805人で前年より22人減少し、死亡率は10.1で前年と同率となっている。市別にみると、名張市は県の値を下回っているが、伊賀市は県の値を2.0ポイント上回っている。

(ウ) 乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されている。管内の乳児死亡数は前年より2名減の3名であり、新生児死亡数は前年より1名減の1名であった。

(エ) 死産

管内の死産数は前年より2名減の25名であった。
 人工死産率は7.7で三重県の値を3.8ポイント下回っている。自然死産率は9.8で県の値と同率となっている。

(オ) 周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標である。周産期死亡数は前年より3名減少し、周産期死亡率は2.1で昨年の値を2.2ポイント下回っている。

(カ) 婚姻と離婚

婚姻件数は920件で前年と同数となっている。婚姻率は5.1で県の値を0.2ポイント下回っている。
 離婚件数は333件で前年より2件減少した。離婚率は1.9で県の値と同率となっている。

(キ) 自然増加

管内の自然増加率は - 2.2で県の値 - 1.1を1.1ポイント下回っている。

(ク) 合計特殊出生率

管内の合計特殊出生率は1.39で昨年より0.05ポイント上回っている。伊賀市は1.41で昨年の0.04ポイント上回り、名張市は1.37で昨年の0.06ポイント上回っている。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示した。

表2 各市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)

平成21年1月1日～12月31日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡率	964.9	1.4	266.7	12.0	6.0	148.9	103.0	12.6	93.4	15.0	1.4	10.4	20.3	54.4	37.3	23.3
	死亡者数	17,590	26	4,862	218	110	2,715	1,878	229	1,702	273	26	190	370	991	680	425
管内	死亡率	1,009.9	0.1	279.2	6.7	6.7	160.6	102.4	8.4	100.1	20.7	0.6	10.6	22.9	71.1	36.9	20.7
	死亡者数	1,805	2	499	12	12	287	183	15	179	37	1	19	41	127	66	37
伊賀市	死亡率	1,159.9	2.0	303.5	7.1	11.2	192.5	111.0	8.1	128.3	21.4	1.0	12.2	23.4	79.4	47.9	16.3
	死亡者数	1,139	2	298	7	11	189	109	8	126	21	1	12	23	78	47	16
名張市	死亡率	826.9	-	249.6	6.2	1.2	121.7	91.9	8.7	65.8	19.9	-	8.7	22.3	60.8	23.6	26.1
	死亡者数	666	0	201	5	1	98	74	7	53	16	0	7	18	49	19	21

表3 各市別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万人対)

平成21年1月1日～12月31日

	総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	378.66	0.40	118.87	5.05	1.82	53.62	35.50	4.65	28.64	4.73	0.55	5.62	6.27	12.37	18.35	19.17
管内	392.43	0.12	122.52	2.78	1.60	57.31	33.88	2.23	28.30	6.99	0.23	5.05	6.68	16.62	18.11	19.35
伊賀市	402.17	0.18	124.79	2.82	2.26	58.51	30.82	2.01	30.51	5.81	0.36	4.96	5.56	15.57	21.29	15.80
名張市	382.30	-	121.83	2.99	0.34	55.15	39.63	2.69	23.92	8.38	-	4.95	8.24	18.66	13.95	23.45

{観察集団の年齢 歳(年齢階級)の死亡率×基準人口集団のその年

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\text{年齢 歳(年齢階級)の人口} \text{の各年齢(年齢階級)についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口 昭和60年モデル人口の使用

管内の死因順位では、第一位悪性新生物499人(総数に占める割合27.6%)、第二位心疾患287人(同様に15.9%)、第三位脳血管疾患183人(同様に10.1%)である。これら3大死因の総数に占める割合は53.7%となっている。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内392.43であり、主な死因別では悪性新生物、心疾患、慢性閉塞性肺疾患、腎不全、老衰、自殺が県の値を上回っている。

死因のうち、悪性新生物部位別死亡状況を表4に示した。

「胃」「肝及び肝内胆管」「気管・気管支及び肺」で42.5%を占めている。

表4 市町村別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成21年1月1日～12月31日(単位:人)

各市名	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸 S状 結腸 移行部 及び直腸	肝及 び肝 内胆 管	胆の う及び その 他の 胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血 病	その 他
三重県	計	4,862	143	680	395	217	417	273	371	1,059	150	69	102	986
	男	2,911	120	439	190	132	275	123	203	782	-	-	65	582
	女	1,951	23	241	205	85	142	150	168	277	150	69	37	404
管内	計	499	18	69	37	19	45	31	40	98	14	7	13	108
	男	302	17	44	16	12	29	13	26	73	-	-	9	63
	女	197	1	25	21	7	16	18	14	25	14	7	4	45
伊賀市	計	298	7	40	20	11	31	17	28	61	8	4	8	63
	男	174	7	22	7	7	21	6	18	46	-	-	6	34
	女	124	0	18	13	4	10	11	10	15	8	4	2	29
名張市	計	201	11	29	17	8	14	14	12	37	6	3	5	45
	男	128	10	22	9	5	8	7	8	27	-	-	3	29
	女	73	1	7	8	3	6	7	4	10	6	3	2	16

第3節 安全な暮らしの確保と安心できる生活環境の創造

311 防災対策の推進

31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 災害発生時には、「災害初動マニュアル」に基づいて迅速に対応します。
2. 災害発生時に、医療機関及び医薬品等関係機関の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品・衛生材料の調達・分配を行ないます。
3. 災害発生時に、市災害対策本部から要請があれば医療救護班を派遣します。
4. 災害拠点病院との連携を図ります。

1 災害拠点病院

大規模な災害時に備えるため、災害拠点病院を指定します。

(1)伊賀地域災害拠点病院

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町831	24-1111	24-2268



伊賀市立上野総合市民病院

伊賀市立上野総合市民病院ホームページより

324 食の安全とくらしの衛生の確保

32401 食の安全・安心の確保

(主担当: 保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
2. 食の安全確保のため、輸入農産物を含めた農畜水産物の残留農薬、残留抗菌性物質等の検査の強化を図ります。

1 食品衛生

食品による危害の発生を防止するため、食品衛生法に基づく許可営業施設等に対する監視指導を実施し、また流通食品等を収去検査した。

食品取扱者及び消費者に対して衛生講習を行うなど、食品衛生思想の普及啓発に努めるとともに、食品衛生指導員と協働して自主活動を推進し、食中毒の予防に努めた。

(1) 市町村別食品関係営業施設数

ア 食品衛生法第52条による許可施設

平成23年3月31日現在

業 種	総数	伊賀市	名張市	その他
飲食店	1712	984	667	61
菓子製造業	233	124	102	7
乳処理業	4	4	0	0
乳製品製造業	6	6	0	0
集乳業	1	1	0	0
魚介類販売業	182	102	56	24
魚介類せり売り業	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	6	4	2	0
かん詰又はびん詰食品製造業	12	8	4	0
喫茶店	590	380	208	2
あん類製造業	1	0	1	0
アイスクリーム類製造業	57	34	23	0
乳類販売業	304	187	112	5
食肉処理業	7	5	2	0
食肉販売業	185	117	62	6
食肉製品製造業	7	7	0	0
乳酸菌飲料製造業	1	1	0	0
食用油脂製造業	3	3	0	0
みそ製造業	13	9	4	0
醤油製造業	9	7	2	0
ソース類製造業	3	3	0	0
酒類製造業	20	14	6	0
豆腐製造業	17	12	5	0
めん類製造業	12	7	5	0
そうざい製造業	15	13	2	0
添加物製造業	7	6	1	0
清涼飲料水製造業	12	11	1	0
氷雪製造業	1	1	0	0
氷雪販売業	1	0	1	0
総数	3421	2050	1266	105

* その他は移動店舗又は露店

イ 三重県食品衛生規則第5条による届出施設

平成23年3月31日現在

業種		総数	伊賀市	名張市
許可を要しない食品 若しくは添加物の製 造業		110	86	24
給 食 施 設	学校	51	31	20
	病院・診療所	14	7	7
	事業所	9	8	1
	その他	118	70	48
計		302	202	100

(2) 監視指導状況

三重県食品監視指導計画に基づき、食中毒発生時のリスク、取り扱う食品の流通の広域性、製造量などを評価し3ランクに分類し、ランクごとに監視頻度を定め、食品衛生法に基づく施設基準や食品の衛生的な取扱いを中心とした監視を実施した。

区分			監視実施件数	監視率(%)
Aランク施設 (年2回以上監視)	対象施設数	143	352	123.1
	監視件数	286		
Bランク施設 (年1回以上監視)	対象施設数	134	142	106
	監視件数	134		
Cランク施設 (5年に1回監視)	対象施設数	3571	1108	155.1
	監視件数	714		
計	対象施設数	3848	1602	141
	監視件数	1134		

(3) 食品衛生月間等の夏期街頭啓発の実施

- * 平成22年8月2日 ジャスコ新名張店
- * 平成22年8月5日 アピタ伊賀上野店
- * 平成22年8月10日 モクモク手づくりファーム

内容

食中毒予防リーフレット、うちわ等の配布
臨時食品衛生相談室の開設
ATPチェッカーを用いた手指の汚れチェック



(4) 食品等の収去検査結果

平成23年3月31日現在

検査結果 収去検体		試験した収去検体数	不適検体数	不適理由 (延数)						
				大腸菌群	異物	添加物使用基準	法定外添加物	残留農薬基準	抗菌性物質	その他*
魚介類		10	2							2
冷凍食品		1								
魚介類加工品 (缶詰・びん詰を除く。)										
肉卵類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)		8								
めん類										
味噌		1								
醤油										
乳	生乳									
	牛乳	2								
	部分脱脂乳									
	加工乳									
乳製品等 (チーズ・バター・乳飲料など)		1								
豆類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)		6								
野菜類・果物及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)		10								
穀類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)		3								
つけ物		3								
菓子類		12	3							3
清涼飲料水		2								
酒類										
缶詰・びん詰食品										
惣菜		63	2							2
弁当		14								
食用油脂		1								
添加物										
その他の食品		2								
器具及び容器包装										
おもちゃ										
保存食		16								
拭き取り		13								
合計		168	7							7

* その他は三重県衛生管理指標不適数

(5) 免許取得状況

平成23年3月31日現在

区分	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
調理師 試験	35	23	65.71
製菓衛生師 試験	44	35	79.55

(6) 食中毒及び苦情食品検査件数

平成23年3月31日現在

項目	食品	拭き取り	便等	計
一般細菌				
大腸菌群				
病原性大腸菌	546	20	89	655
黄色ブドウ球菌	63	20	24	107
サルモネラ菌	63	20	24	107
腸炎ビブリオ	63	20	24	107
ビブリオフルビアリス	63	20	24	107
ビブリオミミカス	63	20	24	107
ビブリオコレレNon01	63	20	24	107
エロモナス・ ハイドロフィラ	63	20	24	107
エロモナス・ソブリア	63	20	24	107
ブレソオモナス・ シゲロイデス	63	20	24	107
セレウス菌	63	20	24	107
ウエルシュ菌	63	20	24	107
カピロバクタ・ジェジュニ/ コリ	63	20	24	107
上記以外の細菌	126	40	48	214
ノロウイルス	63	20	24	107
上記以外のウイルス			12	12
上記以外の微生物				
理化学検査				
官能検査				

32402 生活衛生営業の衛生水準の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
2. 理容・美容所等の立入調査や旅館の監視指導を行っていきます。
3. 公衆浴場、旅館業等の関係施設に対しレジオネラ症発生防止のため自主管理の徹底を図るよう、監視指導を重点的に実施します。

1 生活衛生

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場、興行場等日常生活に密着した営業施設に対して生活衛生水準の維持向上を図るため、施設の監視指導を行なうとともに従業員に対して衛生講習を実施した。

(1) 市町村別生活衛生関係営業施設・調査監視数 平成23年3月31日現在

業種		市町村			管内総数	調査監視件数
		伊賀市	名張市			
理容所		114	69	183	27	
美容所		157	129	286	36	
クリーニング所	工場	17	15	32	4	
	取次所	89	74	163	1	
旅館	ホテル営業	9	3	12	6	
	旅館営業	42	31	73	16	
	簡易宿所営業	5	8	13		
	下宿営業	1		1		
公衆浴場		31	9	40	16	
興行場		7	1	8	2	
合計		472	339	811	108	

(2) 理容所・美容所従事者衛生講習

実施年月日	会場	受講者数
平成22年11月22日 11:00 ~	三重県伊賀庁舎 大会議室	理・美容師
		138名
平成22年11月22日 14:30 ~	名張市商工会議所	理・美容師
		118名

32403 医薬品等の安全確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 薬事法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、医薬品販売等施設に対する監視指導を実施します。
2. 薬事関係業者の資質向上、自主管理体制の促進を目的に研修会等を関係団体と共同して実施します。

1 薬事

薬事法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づきこれらの薬品の製造、流通、消費に至るまで保健衛生上の見地から監視指導を実施した。

(1) 医薬品等の品質、有効性、安全性の確保

薬事法に基づき、医薬品、医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、製造業者、販売業者の監視指導を実施した。

(2) 毒物劇物による危害防止

ア 毒劇物取扱状況実態調査を行うとともに、毒劇物取扱者に対し監視指導を強化し、保管管理の徹底を図った。

イ 警察、消防機関と共同して毒物劇物運搬車両の路上取締りを実施した。

(3) 麻薬等の取扱・管理の適正化

麻薬及び向精神薬取締法に基づき、麻薬等の販売業者や麻薬診療施設を立入調査した。

2 講習会

地域住民等に対して、くすりの正しい使い方などの講習会を行った。

年月日	実施場所	対象人員	実施内容
平成22年6月5日	伊賀市大野木集会所	大野木老人クラブ 59名	くすりの正しい使い方
平成22年6月24日	名張市比奈知公民館	比奈知公民館 69名	くすりの正しい使い方
平成23年3月10日	伊賀庁舎中会議室	伊賀地区薬物乱用 防止指導者協議会 19名	薬物乱用防止について

管内各市別薬事関係施設

医薬品営業関係

平成23年3月31日現在

		名張市	伊賀市	管内総数	立入検査数	
医薬品	薬局	22	30	52	20	
	製造業(薬局)	8	5	13	3	
	製造販売業(薬局)	8	5	13	3	
	一般販売業	1	3	4	1	
	卸売販売業(旧法を含む)	3	9	12	7	
	薬種商販売業	6	7	13	2	
	特例販売業	1	7	8	2	
	店舗販売業	11	8	19	12	
医療機器	販売業	高度管理医療機器	23	19	42	12
		管理医療機器	194	293	487	66
	賃貸業	高度管理医療機器	0	0	0	0
		管理医療機器	0	0	0	0
	販売・賃貸業	高度管理医療機器	3	11	14	3
		管理医療機器	4	6	10	2
合計		284	403	687	133	

*改正薬事法の施行に伴い、分類集計を変更しました。

管内各市別薬事関係施設

毒物劇物営業関係 平成23年3月31日現在

事項 業種		名 張 市	伊 賀 市	管 内 総 数	立 入 検 査 施 設 数
製	造	2	7	9	7
販 売	一 般	27	40	67	22
	農 業 用 品 目	3	28	31	4
	特 定 品 目	1	2	3	
第22 条第 1項	電 気 メ ッ キ 業				
	金 属 熱 処 理 業				
	運 送 業				
特 定 毒 物 使 用 者					
特 定 毒 物 研 究 者			2	2	1
合 計		33	79	112	34

麻薬関係 平成23年3月31日現在

事項 業種		名 張 市	伊 賀 市	管 内 総 数	立 入 検 査 施 設 数
麻薬卸売販売業			2	2	
麻薬小売販売業		15	20	35	19
施 麻 薬 診 設 療	病 院	2	4	6	10
	一 般 診 療 所	24	24	48	9
	歯 科 診 療 所				
家畜診療所		7	5	12	
麻薬研究者			5	5	1
けし研究者					
大麻研究者					
合 計		48	60	108	39

覚せい剤関係 平成23年3月31日現在

事項 業種		名 張 市	伊 賀 市	管 内 総 数	立 入 検 査 施 設 数
覚 せ い 剤 原 料	取 扱 者		7	7	3
	研 究 者		5	5	3
	薬 局	22	30	52	6
	病 院 ・ 診 療 所	96	107	203	2
家畜診療所		11	14	25	
小 計		129	163	292	14

向精神薬関係 平成23年3月31日現在

事項 業種		名 張 市	伊 賀 市	管 内 総 数	立 入 検 査 施 設 数
免許みなし卸売業者		3	8	11	3
免許みなし薬局		22	30	52	25
小 計		25	38	63	28
病 院 等	病 院	2	4	6	10
	一 般 診 療 所	57	68	125	11
	歯 科 診 療 所	37	35	72	
	家 畜 診 療 所	11	14	25	
小 計		107	121	228	21
向精神薬試験研究施設			1	1	1
合 計		132	160	292	50

32404 薬物乱用防止対策の充実 (主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 不正大麻とけし栽培の取締りを実施します。
2. 薬物乱用の未然防止をはかるため、街頭における啓発活動等を実施します。
3. 保健福祉部に覚せい剤等相談窓口を設置し、地域住民からの覚せい剤等に関する相談に応じます。

1 薬物乱用防止対策

覚せい剤、麻薬、大麻、シンナーなどの薬物乱用は本人の心身に害を及ぼすことはもちろんのこと、凶悪犯罪を誘発するなど社会的、経済的にも計り知れない害悪を及ぼす。
そのため、県民に、薬物乱用の危害等薬物に関する情報を提供し、乱用防止の重要性についての啓発活動を実施した。

(1) 不正大麻・けし撲滅運動

ア 目的

不正大麻・けし撲滅運動期間中に大麻・けしの不正栽培の防止及び野性の大麻・けしを一掃するため、発見除去等に努める。

イ 実施年月日

平成22年4月1日～6月30日

ウ 除去本数

けし 2ヶ所 28本

(2) 「ダム、ゼツタイ。」普及運動街頭キャンペーン

ア 目的

覚せい剤等の薬物乱用は青少年をはじめとして広く県民に広がっている。そのため、青少年を主とし県民に薬物の恐ろしさ、乱用防止の大切さを強く訴え、乱用撲滅への意識の高揚を図った。また、薬物依存者等を支援するため、薬物関連の相談窓口等の充実を図った。

イ 実施内容等

「ダム、ゼツタイ。」普及運動街頭キャンペーン			
年月日	実施場所	対象人員	実施内容
平成22年6月26日	伊賀市アピタ 伊賀上野店	2000	リーフレット・救急絆創膏等の啓発資材の配布
平成22年6月26日	名張市アピタ 名張店	2000	

麻薬・覚せい剤乱用防止運動			
年月日	実施場所	イベント名	実施内容
平成22年10月11日	名張市総合体育館	名張市体育・健康フェスタ	リーフレット・ポケットティッシュ等の啓発資材の配布
平成22年10月12日	伊賀市蓑虫庵	芭蕉祭	
平成22年10月17日	比奈知ダム	薬草観察ウォーク	
平成22年11月13日	崇広中学校	ヒューマンフェスタ	
平成22年11月14日	名張市勤労者福祉会館	スポーツ少年団交歓会	

(3) 覚せい剤等相談窓口業務

平成23年3月31日現在(単位:件)

区分	項目	相談件数	相談内容(内容が複数にまたがるものはそれぞれに計上)			
			一般相談	取締・監査等	医療機関	その他
	覚せい剤	0	0	0	0	0
	麻薬	0	0	0	0	0
	大麻	0	0	0	0	0
	有機溶剤	0	0	0	0	0
	脱法ドラッグ等 その他	0	0	0	0	0

32405 人と動物との共生環境づくりの推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。
2. 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。

1 狂犬病予防

狂犬病予防法に基づき、畜犬登録、狂犬病予防注射接種率向上のため市町村と協働して啓発活動を行った。

2 動物愛護

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬の放し飼い防止の指導、野犬の捕獲、飼えなくなった犬や猫の引き取りを行った。

(1) 平成22年度月別犬捕獲等業務、咬傷事故届及び猫収容数

平成23年3月31日現在

区分 月別	犬捕獲等業務				咬傷事故届	猫収容頭数
	犬捕獲頭数	犬引取頭数	犬返還頭数	犬処分頭数()		
平成22年4月	9	1	1	9	2	39
5月	3	3	0	6	1	78
6月	3	4	2	5	0	39
7月	6	10	4	12	2	39
8月	3	2	0	5	3	28
9月	11	10	2	19	1	32
10月	7	2	3	6	0	28
11月	9	2	4	7	1	14
12月	2	0	0	2	0	7
平成23年1月	14	3	0	17	1	1
2月	9	3	1	11	0	2
3月	1	2	2	1	1	5
計	77	42	19	100	12	312

犬処分頭数 = 殺処分 + 譲渡数

(2) 特定動物の飼養状況

平成23年3月31日現在

飼育場所	種類	頭数	目的
名張市	ニホンザル	1頭	愛玩用

325 感染症対策の推進
32502 感染症予防および治療体制の充実
 (主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。
2. エイズをはじめとする性感染症のまん延を防止するため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
3. 結核患者の早期発見・早期治療のため、接触者健康診断を実施し、まん延を防止します。

1 感染症の予防事業

各種感染症の予防対策と防疫対策の推進を図り、患者発生の防止に努めた。

(1) 感染症発生状況(結核を除く)

平成23年3月31日現在

分類	疾患名	届出件数
一類感染症		0件
二類感染症		0件
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢	30件
四類感染症	A型肝炎	1件
五類感染症	麻しん、急性脳炎、破傷風、梅毒	5件

(2) 検疫通報

通報件数 0件

(3) 行政検査実施状況

平成23年3月31日現在

疾患名	件数
腸管出血性大腸菌感染症	564
インフルエンザ	1
手足口病	1
ウイルス性髄膜炎	1
流行性耳下腺炎	1
無菌性髄膜炎	1

(4) 感染予防教育実施状況

実施日	内 容	参加者
平成22年7月28日	「感染症・食中毒の予防及びまん延防止について」	伊賀市社会福祉協議会 訪問介護員、通所介護員、 訪問看護員 80名

2 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施した。

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

(1)相談、検査状況 平成23年3月31日現在

	男	女	計
エイズ相談件数	25	14	39
エイズ検査件数	41	21	62

(2)普及啓発状況

エイズを含めた性感染症の予防と、患者及び感染者に対する差別や偏見の解消を図る事を目的に普及啓発を実施した。

1)健康教育の実施

実施日	内 容	参加者
H22年8月26日	「思春期の子どものこころとからだ」 講師:金丸産婦人科 院長 金丸恵子氏	伊賀市立小学校 保護者他32名

2)キャンペーン等の実施

実施日	内 容	対象者
H22年10月8日	コープ啓発	来場者 106名
H22年10月11日	名張市体育・健康フェスタにおいてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 100名
H22年11月30日	世界エイズデー街頭キャンペーンの実施	住民 1,000名
H22年11月24日 ~ 12月10日	伊賀庁舎にて世界エイズデー啓発コーナーの設置	来庁者 200名



(3)特定感染症検査

平成23年3月31日現在

	男	女	計
梅毒検査件数	40	20	60
B型肝炎検査件数	47	33	80
C型肝炎検査件数	46	33	79

レッドリボンとは、HIV感染者・エイズ患者への理解と支援の意思を表すシンボルです。

3 結核予防事業

結核予防の第一原則である感染源となる患者を発見するため、結核健康診断を実施し早期発見と早期治療の徹底を図った。また、患者に対しては、月2回感染症診査協議会を開催し、結核医療の公費負担の適正化を図った。

(1) 結核健康診断実施状況

ア 乳幼児等予防接種実施状況

平成23年3月31日現在

対象者の年齢区分	対象者数 A	BCG 接種者数 B	接種率 B/A
6ヶ月未満	伊賀市 735人	723人	98.4%
	名張市 659人	629人	95.4%

イ 学校健康診断

(ア) 小中学校(職員)

平成23年3月31日現在

区分	対象者数A	精密検診 対象者数 B	精査率 B/A	精密検査結果				
				異常なし	その他の 疾病	結核発病 の恐れ	結核患者	不明
小学校	702人	3人	0.4%	1人	0人	0人	0人	2人
中学校	357人	1人	0.3%	0人	0人	0人	0人	1人

(イ) 高等学校以上(生徒・職員)

平成23年3月31日現在

学校別 区分	対象者数	X線撮影		精密検診					
		受診者数	受診率%	対象者数	異常なし	その他の 疾病	結核発病 の恐れ	結核患者	不明
高等学校 (生徒)	1,623	1,618	99.7%	3	1	1	0	0	1
その他学校 (生徒)	44	44	100.0%	0	0	0	0	0	0
高等学校 (職員)	588	587	99.8%	10	10	0	0	0	0
その他学校 (職員)	20	20	100.0%	0	0	0	0	0	0

ウ 一般住民健康診断

平成23年3月31日現在

区分 市別	X線撮影			精密検診					
	対象者数	受診者数	受診率%	対象者数	受診者数	異常なし	その他疾病	結核発病の恐れ	結核患者
伊賀市	26,730	4,526	16.9%	138	53	11	42	0	0
名張市	12,156	1,093	9.0%	28	15	2	13	0	0

エ 事業所検診実施状況

平成23年3月31日現在(単位:人)

X線撮影		
保健所実施数	その他実施数	計
0	5,887	5,887

(2) 結核健康診断実施状況

平成23年3月31日現在

区分		検診 実人員	ツベルク リン反応	BCG 接種	QFT 検査	直接 撮影	喀痰 検査	患者 発見数
患者家族検診	保健所実施分	94	7	0	64	77	0	0
	委託医療機関	0	0	0	0	0	0	0
管理検診	保健所実施分	17	0	0	0	21	0	0
	委託医療機関	0	0	0	0	0	0	0

(3) 結核医療事業

ア 病状別受療状況 (潜在性結核感染症含まず)

平成22年12月31日現在

区分	合計	活動性肺結核				活動性 肺外結核	不活動 性結核	活動性 不明
		喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他	計			
計	56	10	6	2	18	4	33	1
入院	8	5	1	1	7	1		
うち18条,19 条,20条適用者	4	4	0	0	4	0		
在宅医療	14	5	5	1	11	3		0
医療なし	34	0	0	0	0	0	33	1
治療状況不明	0	0	0	0	0	0		0

イ 市別新登録患者数(潜在性結核感染症含まず)

平成22年12月31日現在

市別	平成22年12月31日現在		
区分	計	伊賀市	名張市
22年新登録患者数 (潜在性結核感染症含まず)	27	10	17

ウ 登録及び登録除外の状況

平成22年12月31日現在

21年末現在 登録数	年内登録			22年内登 録除外	22年末現 在登録数
	新規	転入	計		
60	29	0	29	31	58

エ 新登録患者の年齢別・病型別分類

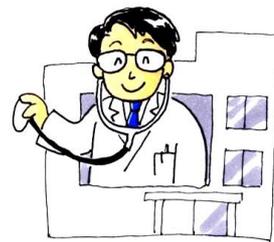
平成22年12月31日現在

病型	計	活動性 肺結核	活動性 肺外結核	不明・ その他	潜在性結 核感染症
年齢					
計	29	22	5	0	2
0~4	0	0	0	0	0
5~9	0	0	0	0	0
10~14	0	0	0	0	0
15~19	0	0	0	0	0
20~29	1	1	0	0	0
30~39	0	0	0	0	0
40~49	2	2	0	0	0
50~59	3	1	1	0	1
60~69	6	5	0	0	1
70~	17	13	4	0	0

(4) 結核統計

結核死亡数・率、罹患数・率、有病数・率 平成22年12月31日現在

市別		計	伊賀市	名張市
人口 (H22.10.1現在)		177,492	97,215	80,277
死亡核	総数	2	1	1
	率 (10万対)	1.1	1.0	1.2
罹患率	総数	27	10	17
	率 (10万対)	15.2	10.3	21.2
有病率	総数	22	10	12
	率 (10万対)	12.4	10.3	14.9



(5) 結核対策特別促進事業

ア 目的

独居生活者・高齢者世帯など、家族・周囲の者の協力が得られず、服薬中断の可能性が高いと思われる患者を中心に、定期的に保健師による服薬支援を行い、治療の必要な患者が確実な服薬ができるよう、医療機関と保健所が連携を図り、地域での服薬支援体制の充実に努める。

イ 事業内容

- (ア) 訪問・電話連絡等で定期的に患者及び家族に服薬・受療状況の確認・支援を行った。
- (イ) 医療機関でのDOTSカンファレンスに参加し、服薬支援状況・結果等を報告した。「訪問結果報告書」「面接報告書」を使用して、医療機関との情報共有を行った。

ウ 結果

定期的な服薬確認により本人への意識付けとなり、飲み忘れ・服薬量の勘違いを防ぐことができた。また、家族に対しても服薬支援を行うことで家族内で支援環境が出来、より確実な服薬・受療ができた。

また、定期的開催されるDOTSカンファレンスに参加したり、面接・訪問結果を医療機関に報告することで、入院中からの患者の情報を提供して頂くことができ、よりよい支援を行える体制が出来た。

(6) 22年末登録者数内訳

発見時症状

呼吸器症状	13
呼吸器症状 + その他	18
その他症状	11
症状なし	14
計	56

22年末登録患者56名のうち、呼吸器症状もしくは呼吸器症状+その他の症状等で発見される場合が55.4%と半数を占める。肺結核の患者が多いためと考えられる。また、症状なしでの発見が2割以上あり、職場健診・定期健診などで発見されている。これらの健診が早期発見に繋がっていると考えられる。

合併症

糖尿病	6
HIV	0
じん肺	1
その他	28
計	35

22年末登録患者56名のうち、他疾患治療中、経過観察中の者が62.5%であった。特に糖尿病による合併が10.7%あり、結核だけでなく、合併症の管理も必要な者が多い。

331 健康づくりの推進

33101 健康づくり活動の推進

(主担当: 保健衛生室 健康増進課・地域保健課)

主な取組内容

1. ますます進展する少子高齢社会において、質の高い健康文化を築き、多くの高齢者が生き生きと生活している「健康長寿地域伊賀」を目指します。そのために 県民、市、学校、医師会、企業等関係団体に対し、健康づくり活動の協働体制を確立するための働きかけを積極的に行っていきます。
2. 各種保健関係データを収集・分析することにより、伊賀地域における健康課題を抽出しシステム化するとともに、市との協働により、健康づくりホームページの作成に取り組み健康に関する情報提供を進めていきます。
3. 市との協働により、食生活、たばこ、健康ウォーク、こころの健康づくり、歯科保健対策等生活習慣の改善に向けて取り組み、健康づくり運動の輪を広げていきます。

1 健康づくり総合推進事業

伊賀保健福祉事務所では、ますます進展する少子高齢社会に向け、働く世代を中心に健康づくりに対する気運を高めることにより、高齢になっても多くの方がいきいきと現役で生活している「健康長寿地域伊賀」を目指します。

(1) いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会の開催

開催日	委員出席者数	内 容
平成22年 7月15日	10名	・委員紹介 ・報告事項 ・意見交換
平成23年 2月24日	11名	・報告事項 ・意見交換

(2) 懇話会主催研修会の開催

日 時	場 所	演 題	講 師	参加者数
平成23年 2月24日	県伊賀庁舎 第6会議室	「知って安心 結核のCommon Sense」	国立病院機構 三重中央医療センター 名誉院長 坂井隆	40名

2 保健師活動状況

(1) 管内保健師設置状況 平成23年4月1日現在

区分	市名	総数	保健福祉 事務所	伊賀市	名張市
	設置人員				
		39	6	19	14

3 教育・研修

- | | |
|--|--|
| (1) 管内保健師業務研修会
期間: 平成22年12月27日
内容: 災害研修図上シミュレーション訓練
参加者: 保健師 27人 | (2) 東海北陸ブロック保健師等研修会
期間: 平成22年7月21日～7月23日
参加者: 保健師 5名 |
| (3) 地域保健看護リーダー及び幹部技術研修
期日: 平成22年8月27日
場所: 県庁厚生棟
参加者: 保健師 2名 | (4) 災害看護研修(保健師編)
期日: 平成22年9月17日
場所: 三重県看護研修会館
参加者: 保健師 2名 |
| (5) 保健師人材育成研修会
期日: 平成23年2月7日
場所: JA三重健保会館
参加者: 保健師 3名 | (6) 保健師人材育成研修
期日: 平成23年3月7日
場所: 吉田山会館
参加者: 保健師 3名 |
| (7) 公衆衛生看護管理者研修(実務管理)
期間: 前期 平成22年5月24日～6月1日
後期 平成23年1月12日～1月14日
場所: 国立保健医療科学院
参加者: 保健師 1名 | |

33102 食環境の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 特定多数の県民が適正な食生活を営む力をつけるために給食施設指導を充実します。
2. 幼少の時から、バランスのとれた楽しい食生活を営む力を身につけ、自分の健康に意識を持った県民をつくるため、幼児期からの食育を推進します。
3. みえの食生活指針・食事バランスガイドの普及啓発を広く県民に行うとともに、多様な主体と協働した食環境づくりを推進します。

1 健康食育推進事業

(1) 朝食欠食幼児ゼロ推進事業

幼児期の朝食欠食を防ぎ、幼児期からの健康的な食生活の実践を推進するため、地域リーダーや保護者に対して研修や支援を実施しました。

研修会

開催日等	開催場所	対象団体	人数	内容
平成22年7月14日	名張市武道交流館 いきいき	名張市 保育士、栄養士等	37名	食物アレルギーの基本と給食における対応について
平成22年9月6日	栄養指導室	行政栄養士、 地域活動栄養士	15名	乳幼児の食物アレルギーへの対応～給食とおやつの実際
平成22年4月～3月 (11回)	上野勤労者体育館 他	キッズサッカース クール保護者	延142名	食育・夏バテしない食生活、食 品衛生、地産地消 等
平成22年12月21日 ～ 22日	東部保育園	保育所長、保育士、 栄養士	41名	キッズクッキングの手法につ いて研修

(2) 食事バランスガイド地域協働啓発事業

エネルギーの過剰摂取や栄養の偏りを防ぐための食事バランスガイドの活用を図るため、地域の市民団体等と協働し、県民への普及啓発を行いました。

リーダー研修会

開催日	開催場所	対象者	人数	内容
平成22年5月27日	千歳公民館	介護予防教室参加者	30名	高齢者の食と健康
平成22年12月8日	桔梗が丘高等学校	高校3年生	40名	生涯を通じた健康づくり～食を中心に

協働啓発活動

開催日	イベント名	対象者	人数	実施場所
平成22年10月8日	コープみえ2010 くらしの活動交流会	コープみえ会員	約100名	上野フレックスホテル
平成22年10月11日	名張市体育・ 健康フェスタ	住民	約100名	名張市総合体育館
平成22年11月7日	三重県歯科保健大会	参加者	約200名	伊賀市文化会館

(3) 給食施設強化事業

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、給食施設の把握、給食施設における栄養管理・食育の充実に向けた指導助言等を行いました。

ア 給食施設従事者研修会

開催日	開催場所	対象者	内容
平成22年11月19日	県伊賀庁舎大会議室	管内給食施設従事者	・公衆衛生の視点からの生活習慣病予防 ・給食施設における衛生管理について ～食中毒発生の事例から学ぶ～

イ 特定給食施設等巡回指導

	巡回指導施設数	備考
特定給食施設	30	指定施設3を含む
一般給食施設	38	
計	68	

(4) 人材育成・支援事業

地域で活動する市民団体や食に関係する職域の専門職種、食育関係者等に対して研修や情報発信等を行うことにより、地域リーダーの育成と活動の活性化に向けた支援を行いました。

ア 地区組織育成・支援

食生活改善推進員の育成に対する支援、組織活動に対する育成・支援を行いました。

種別	対象者	内容	回数
総会	伊賀市・名張市食改協	地区組織活動について健康づくりのための食品表示等	4回
リーダー研修会	伊賀地区食改協	自主研修への場所及び情報提供 等	10回
木の芽会研修	木の芽会会員	乳製品を使った調理実習及び骨粗鬆症予防	1回

イ 専門職種への支援

	内容	実施回数
市栄養士	・研修会 ・食生活改善員養成講座 ・助言 等	4回 3回 3回
地域活動栄養士	・研修会 ・会員研修への場所及び情報の提供 ・啓発媒体等の提供	3回
職域栄養士等	・研修会	1回

2 栄養施行事務事業

(1) 栄養表示等相談・指導

健康増進法第26条に基づく特別用途食品表示、栄養表示基準並びに同法第32条の2に基づく誇大表示の禁止に関する相談や指導・助言を行いました。

内容	対象者	件数
栄養表示指導	事業者	1件
栄養表示相談	事業者	2件
虚偽誇大広告相談	事業者	1件

(2) 栄養相談・指導

健康増進法第18条に基づく栄養相談・指導を実施しました。

	個別指導延べ人数			集団指導延べ人数	
	栄養指導	(再掲) 病態別	(再掲) 訪問による	栄養指導	(再掲) 病態別
妊産婦	0	0	0	0	0
乳幼児	1	0	0	0	0
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳以上	3	2	0	598	0

33103 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい理解の普及啓発を図り、関係機関と連携を図りながら共に支えあい安心して生活できる地域づくりを目指します。
2. 市が実施するこころの健康づくり対策の側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進を図ります。

1 こころの健康づくり事業

(1)こころの健康づくり研修会の開催

地域住民等が、自殺を含めたこころの健康問題について正しく理解し、セルフケアできるようにすることを目的に研修会を開催しました。

開催日時:平成22年12月15日(水) 13:30～16:00

開催場所:県伊賀庁舎 7階 大会議室

内 容:講演「こころに寄り添う～援助と自立～」

講師 飛騨千光寺住職 大下大圓氏

対 象:一般市民、リスナー登録者、精神保健福祉ボランティア、行政、関係機関職員等

(2)こころの健康づくりに関する意識等啓発

企業のイベント及び市が開催する健康まつりに参加し、保健所ブースでこころの健康づくりに関する啓発を実施しました。

名張市体育・健康フェスタ2010

開催日:平成22年10月10日(日)

場 所:名張市総合体育館

内 容:パネル展示、各種パンフレット・啓発グッズ配布

保健所ブースへの来場者 約100名

2010コープみえ「商品・くらしの活動交流会」

開催日:平成22年10月8日(金)

場 所:上野フレックスホテル

内 容:自殺予防・メンタルヘルス、食事・運動の健康づくりのパンフレット配布

2 自殺予防対策

自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるものではなく、その背景には、様々な社会的要因があることをふまえ、市民や関係機関に対して命の大切さについて理解を深めることや、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及・啓発を行い、地域での自殺予防対策の取り組みについて説明した。

- (1) 管内課長会議でこころの健康づくり、自殺予防対策について説明
- (2) 管内保健師業務連絡会議で県の自殺予防対策の取り組みについて説明
- (3) 市民への自殺予防の啓発

こころの健康づくり研修会で自殺の現状、予防、対策等についてパンフレット、啓発グッズなど活用し啓発。

自殺予防週間及び自殺対策強化月間の啓発・・・庁舎内に「自殺予防週間」、「自殺対策強化月間」ののぼり、啓発グッズを置き、伊賀保健福祉事務所HPに関連記事を掲載し、自殺予防の啓発。

名張市の体育・健康フェスタ2010で自殺予防について啓発。
自殺予防に関するパネル展示、自死遺族の集いパンフレット、自殺予防統一標語入りティッシュ等配布。

世界自殺予防デーを含む自殺予防週間街頭啓発の実施。

日時: 平成22年9月10日 7:30～8:30 場所: 名張駅周辺
平成22年9月14日 7:30～8:30 伊賀鉄道上野市駅周辺

自殺対策強化月間の街頭啓発

日時: 平成23年3月1日 場所: 伊賀市・名張市の商店街4ヶ所

3 関係機関等の連絡調整等

地域でこころの健康づくり事業を推進するためには、各市関係者との共通理解や連携が必要であることから、年度始めに各市(伊賀市は支所も)を会場に連絡会議を実施した。
主に、事業の調整を行い、協働で自殺予防対策を含めた連携を行った。

332 子育て環境の整備
33201 保育・放課後児童対策等の充実
 (主担当: 保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 放課後児童クラブの設置を促進するなど、地域のニーズにあった放課後児童対策を推進します。
2. 仕事と子育ての両立を支援するため、延長保育、低年齢児保育、休日保育、一時保育、障害児保育などの多様な保育ニーズへの対応や放課後児童クラブ、地域子育て支援センター事業等の整備を促進します。
3. 保育所が、地域における子育ての専門機関としての機能を発揮し、多様なニーズに対応できるよう多機能保育所の整備を促進します。

1 保育所

保育所は、保護者が就労したり、あるいは疾病にかかるなどのため、家庭において保育することができない児童を、保護者にかわって保育することを目的とする児童福祉施設である。近年、保育需要の多様化により、延長保育、障害児保育等の特別保育事業を実施している。また、在宅乳幼児の子育て支援としての期待に対しても応えようと、相談や、園庭の開放を行っている。

平成23年4月1日現在

市名	施設数	定員	入所児童数	年齢別内訳				へき地保育所
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上	
伊賀市	36	3,135	2,588	74	699	573	1,242	-
名張市	15	1,455	1,396	31	403	310	652	1
計	51	4,590	3,984	105	1,102	883	1,894	1

2 管内の児童福祉施設(保育所を除く)の状況

平成23年4月1日現在

施設の種別	施設名	市町村名	定員	現員(登録者)
助産施設	森川病院	伊賀市	38	-
児童養護施設	名張養護学園	名張市	46	45
知的障害児施設	こどもライフサポートセンター はーと	名張市	30	28
障害児デイサービス事業施設	療育センター どれみ	名張市	10	74
	なちゅ	名張市	10	42
	ゆうら	名張市	10	45
児童館	伊賀市しろなみ児童館	伊賀市	-	-
	伊賀市まえがわ児童館	伊賀市	-	-
	伊賀市老川児童館	伊賀市	-	-
	名張市比奈知児童館	名張市	-	-
	名張市一ノ井児童館	名張市	-	-
	名張市こども支援センター かがやき	名張市	-	-

33203 母子保健対策の推進

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 母子保健の2014年(平成26年)までの国民運動計画である「健やか親子21」を県民運動として展開するため、親と子の総合的な健康づくりに取り組みます。
2. 新生児を対象とした種々のマス・スクリーニング検査の実施、乳幼児、未熟児、思春期を対象とした専門的なサ - ビスの提供や養育医療等を必要とする児童に対して経費の負担等を行います。
3. ハイリスク児の養育支援や市町村支援、研修等、虐待予防に視点をおいた機能強化に努めます。

1 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、市町村の母子保健事業の支援、広域的な母子保健施策の推進に努める。

(1) 保健指導事業

未熟児、小児慢性特定疾患及び養育医療受給者等とその家族に対して、関係機関との連携を図りながらQOL(生活の質)の向上を目指して個別支援を実施した。

家庭訪問延件数	144件
相談延件数 (面接・電話)	750件

心身ともに発達や変化の大きい思春期の児童・生徒等に対して、性や健康に関する情報の提供及び保健指導を実施した。

電話相談延件数	3件
---------	----

(2) 健やか親子支援事業

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりを目指し、「健やか親子いきいきプランみえ」を推進していく中で、妊娠・出産・乳幼児期・思春期を通じて総合的に支援していくことを目的とした。

ア 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

	年月日	場所	内 容	参加者
ネットワーク 会議	H22.7.30 H22.9.1 H22.10.7 H23.2.9	三重中央医療 センター 三重大学医学 部付属病院	医療支援の必要な児の在宅支援に向けた検討	14名 7名 11名 14名
	H22.10.19	名張市社協	〃	3名

イ 児童虐待予防ケア

	年月日	場所	内 容	参加者
名張市要保護 児童対策地域 協議会会議	H22.6.8 H22.7.15 H22.8.19 H22.11.8 H23.2.10	名張市役所	要保護児童に対し、適切に支援できるように情報交換、協議を行った。	保育所職員 市職員 児童相談所職員 保健所職員 警察署職員
事例検討会	H23.3.10	名張市役所	市や児相で関わりのあるケースで疾病のある幼児について適切に支援できるよう事例検討会を行った。	保育所職員 市職員 児童相談所職員 保健所職員

ウ 思春期保健

	年月日	場所	内 容	参加者
研修会 健康教育	H22.8.26	市立小学校	講義「今日は大事な話です ～思春期のこころとからだの成長を考える～」 講師:金丸産婦人科 金丸 恵子 氏	保護者・職員 32名
連絡調整	H22.5.11 H22.6.7 H22.6.9 H22.6.10 H22.6.29 H22.7.13 H22.8.18		事業連絡調整	健康教育依頼校担当者 PTA関係者、講師等

エ 母子保健体制の整備

	年月日	場所	内 容	参加者
連絡調整会議	H22.5.12 H22.8.18 H22.11.30	伊賀保健福祉 事務所	母子保健業務連絡調整会議	市保健師 保健所保健師
	H22.12.27	伊賀庁舎		
乳幼児健診委 員会の場での 情報交換	H22.4.15 H22.10.28 H23.2.24	伊賀医師会館	情報交換	
	H22.4.7 H22.5.26 H22.7.28 H22.9.24 H22.11.26 H23.1.28 H23.3.25	名賀医師会館		

(3) 各種医療給付の状況

ア 育成医療

身体に障害のある児童、又はこれを放置すると将来障害を残すと認められる児童で確実な治療効果が期待し得るものに対し、医療給付を行った。 給付件数 103件

疾患	件数
肢体不自由	13
視覚障害	5
聴覚・平行機能障害	5
音声・言語・そしゃく機能障害	36
心臓障害	16
腎臓障害	1
その他内臓障害	27

イ 養育医療

出生体重が2,000g以下、あるいは生活力が特に希薄で医師が入院養育が必要と認めた未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行った。 給付件数 46件

ウ 小児慢性特定疾患

小児慢性特定疾患治療研究事業に基づいて、患者家庭の医療費負担の軽減を図った。

平成23年3月31日現在

	計	悪性 新生物	慢性腎 疾患	ぜん そく	慢性 心疾患	内分泌 疾患	膠原病	糖尿病	先天性 代謝異 常	血友病 等血液 疾患	神経 ・筋疾 患	慢性消 化器疾 患
件数	129	26	4	7	24	36	4	8	2	5	7	6

2 母体保護事業

(1) 人工妊娠中絶届出数(年齢別・在胎週別)

平成23年3月31日現在

在胎週	年齢										
	総数	20歳 未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳 以上	不詳	
総数	240	17	42	61	45	48	26	1	0	0	
満7週以前	158	7	27	45	31	32	15	1	0	0	
8週～11週	81	9	15	16	14	16	11	0	0	0	
12週～15週	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
16週～19週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20週～21週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 不妊手術届出数

届出件数 0件

333 地域とともに進める福祉社会づくり

33301 地域福祉活動の推進

(主担当: 保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 地域福祉の総合的な推進を図るため、住民が互いに支えあう社会づくりをめざした県および市の社会福祉協議会の事業を支援します。
2. 住民の身近なところでの相談・支援体制を整備するため、民生委員の適正な配置と活動を確保するとともに、民生委員の資質向上のための研修や民生委員協議会活動の促進を図ります。
3. 誰もが、いつでも、どこでも、ボランティア活動に参加できる体制を整備するため、県および市の社会福祉協議会のボランティアセンターの機能強化を進めます。

1 地域福祉

(1) 市社会福祉協議会の活動

社会福祉法の成立により、市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした団体として明確に位置付けられ、地域福祉権利擁護事業をはじめとする福祉サービスの利用者を支援する新たな役割をはたすこととなった。

今後は、地域住民と地域のあらゆる団体・組織の参画と協働により、地域の福祉ニーズに対して包括的に生活を支援する取り組みや事業を企画・実施し、それを通じて誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりが進められる。

社会福祉協議会職員の状況

平成23年4月1日現在

	伊賀市社会福祉協議会	名張市社会福祉協議会
職員総数 (非常勤・臨時職員を含む)	400名	129名

2 民生委員・児童委員

(1) 民生委員・児童委員の定数

平成22年3月31日現在

市名	委員定数[うち主任児童委員]
伊賀市	295[30]
名張市	180[16]
計	475[46]

(2) 民生委員・児童委員活動状況

[]内は主任児童委員(再掲)

平成22年3月31日現在

		件数
内容別相談 支援件数	在宅福祉	1,870 [5]
	介護保険	752 [3]
	健康・保健医療	713 [11]
	子育て・母子保健	429 [244]
	子どもの地域生活	858 [75]
	子どもの教育・学校生活	628 [112]
	生活費	1,104
	年金・保険	133
	仕事	108 [7]
	家族関係	524 [21]
	住居	188 [1]
	生活環境	621 [6]
	日常的な支援	3,255 [9]
	その他	2,451 [15]
計	13,634 [509]	
分野別相談 支援件数	高齢者に関すること	8,514 [38]
	障害者に関すること	861 [14]
	子どもに関すること	1,949 [434]
	その他	2,310 [23]
	計	13,634 [509]
その他の活動件 数	調査・実態把握	5,955 [90]
	行事・事業・会議への参加協力	12,693 [1211]
	地域福祉活動・自主活動	22,789 [1327]
	民児協運営・研修	12,209 [775]
	証明事務	608 [7]
	要保護児童の発見の通告・仲介	126 [19]
活動日数	67,660 [3969]	
訪問回数	82,574 [1210]	

3 ボランティア活動

民間社会福祉活動の担い手であるボランティアグループは、社会福祉協議会が中心となり数多く結成され活動の輪も広がってきている。

ボランティアスクールが開かれ、それとともにボランティア協議会に結集して連携をもったきめ細かな取り組みが進んでいる。

(1) ボランティア登録の状況

各社会福祉協議会登録数

平成22年3月31日現在

	グループ数(団体)	グループ所属人数	個人(人)
伊賀市	166	4,869	3,079
名張市	82	2,553	298
計	248	7,422	3,377

341 医療体制の整備

34101 患者本位の医療の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域医療提供体制の整備を図るため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供するかかりつけ医の推進を図ります。

1 医務

管内における医療施設の状況は次のとおりです。
人口10万対病床数は三重県平均を下回っています。

(1) 施設数

平成22年4月1日現在

区分	市名		
	総数	伊賀市	名張市
病院	6	4	2
一般診療所	124	68	56
歯科診療所	72	36	36
助産所	0	0	0
施術所	100	51	49

(2) 病床数(病院)

平成22年3月31日現在

	病 院						病床率 (人口10万対)
	総数	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般 病床	療養 病床	病院
全 国	1,597,320	347,441	1,804	8,542	904,506	335,027	1,252.9
三重県	20,741	4,826	16	60	11,478	4,361	1,118.0
管 内	1,413	410	0	0	885	118	792.8

34103 救急・へき地医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、伊賀管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
2. 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

伊賀地域では、両市の応急診療所による一次救急医療体制と併せて2市3病院の二次救急輪番制により救急医療体制が維持されている。

しかしながら、病院における医師不足は年々深刻となっており、今後、3病院による輪番制の維持が困難な状況になることも予想されている。

平成22年9月に消防法の一部改正に基づく救急搬送に係る「実施基準」が策定されたことから、行政、医師会、消防、医療機関等で構成する伊賀地域救急搬送・受入基準等検討会を設置し、救急搬送体制も含めた伊賀地域の救急医療体制の確保と円滑な救急活動の遂行に向け検討している。

また、病院前救護の資質向上の観点から、伊賀地域メディカルコントロール部会において「実施基準」の周知徹底を図るため、消防本部の救急隊員に対する講習会を開催した。

(1) 伊賀地域救急搬送・受入基準等検討会

- ア 開催回数: 計2回
- イ 開催場所: 三重県伊賀庁舎
- ウ 出席者数: 延べ32名

(2) 伊賀地域メディカルコントロール部会(協議会)

- ア 開催回数: 計1回
- イ 開催場所: 三重県伊賀庁舎
- ウ 出席者数: 延べ8名



(3) 傷病者の搬送及び受入の実施に関する基準講習会

- ア 開催回数: 計2回
- イ 開催場所: 名張市防災センター、三重県伊賀庁舎
- ウ 出席者数: 延べ84名

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定する。

(1) 伊賀地域救急告示病院

平成23年4月1日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町831	24-1111	24-2268
岡波総合病院	518-0842	伊賀市上野桑町1734	21-3135	21-5237
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西1番町178	61-1100	64-7999

34105 骨髄バンク、臓器移植等の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進をはかり県内で必要な血液を確保します。
2. 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。
3. 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。

1 献血推進

医療に必要な血液製剤をすべて自国の献血で確保する体制を早期に確立するため、献血思想の普及、献血組織の充実に努めた。特に輸血の安全性向上させる400ml献血及び成分献血への理解と協力を図っている。

また、少子高齢化の進行により献血可能人口の減少が避けられないなか、将来の献血事業を担う若年層対し、献血思想の普及啓発を推進した。管内高校及び大学を訪問し、献血の啓発とヤングミドナサポ-タ-事業への協力を依頼した。

その結果、名張高校、名張西高校、よりヤングミドナサポ-タ-として8名の登録があった。

(1)「夏期献血街頭ページェント」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
平成22年7月6日	アピタ伊賀上野店	73名	57名
平成22年7月14日	ジャスコ新名張店	75名	50名

(2)「ウインター献血キャンペーン」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
平成23年1月10日	アピタ伊賀上野店	74名	50名
平成23年2月16日	ジャスコ新名張店	62名	46名

(3) 市別献血状況

平成22年度実績

市町別	献血者数			
	400mL	200mL	成分献血	計
伊賀市	2,141	0	0	2,141
名張市	794	0	0	794
伊賀管内	2,935	0	0	2,935
三重県	37,749	138	24,123	62,010

2 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録(ドナー登録)の推進を図った。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎月第2木曜日に登録受付を実施している。

(2) 臨時ドナー登録受付の実施

管内市における4ヶ所の献血会場にて受付を実施した結果、1名の登録があった。

34106 難病患者等の支援

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族のQOL(生活の質)の向上をはかります。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律により、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施した。
また、同法に基づき各種手当を対象者に支給した。

(1) 被爆者健康手帳所持者 61人 平成23年3月31日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	23	38

(2) 被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 21人 (内要精検者数 4人)

第2回 23人 (内要精検者数 3人)

イ がん検診受診者数

平成23年3月31日現在

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	1	1	0	0	1	1
要精検者数	0	0	0	0	0	0

(3) 各種手当支給状況

平成23年3月31日現在

	医療 特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者数	1	54	0	1	0	4	3

2 難病対策事業

(1) 特定疾患治療研究事業

特定疾患として指定された56疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により特定疾患医療受給者証を交付した。また、症状が改善され、経過観察等一定の通院管理のもとで、著しい制限を受けることなく就労を含む日常生活を営むことができる方には特定疾患登録者証を交付した。

特定疾患医療受給者数

平成22年度(平成23年3月末まで)

疾患名		男	女	合計
総計		450	629	1,079
1	ベーチェット病	14	6	20
2	多発性硬化症	4	21	25
3	重症筋無力症	9	15	24
4	全身性エリテマトーデス	11	59	70
5	スモン	0	1	1
6	再生不良性貧血	13	7	20
7	サルコイドーシス	5	14	19
8	筋萎縮性側索硬化症	13	11	24
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	20	76	96
10	特発性血小板減少性紫斑病	12	29	41
11	結節性動脈周囲炎	3	8	11
12	潰瘍性大腸炎	75	74	149
13	大動脈炎症候群	1	9	10
14	ピュルガー病	15	1	16
15	天疱瘡	4	6	10
16	脊髄小脳変性症	14	18	32
17	クローン病	23	11	34
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	1	1
19	悪性関節リウマチ	0	5	5
20	パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	64	102	166
21	アミロイドーシス	1	4	5
22	後縦靭帯骨化症	27	20	47
23	ハンチントン舞踏病	0	0	0
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	0	13	13
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	0	1
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	40	11	51
27	多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13	6	19
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0
29	膿疱性乾癬	1	1	2
30	広範脊柱管狭窄症	11	11	22
31	原発性胆汁性肝硬変	3	30	33
32	重症急性膵炎	5	0	5
33	特発性大腿骨頭壊死症	5	6	11
34	混合性結合組織病	1	12	13
35	原発性免疫不全症候群	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	6	4	10
37	網膜色素変性症	16	19	35
38	プリオン病	1	3	4
39	原発性肺高血圧症	0	4	4
40	神経線維腫症	1	0	1
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
42	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0	0	0
43	特発性慢性肺血栓栓塞症(肺高血圧型)	0	4	4
44	ライソゾーム病	1	0	1
45	副腎皮質ジストロフィー	0	0	0
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	0	0	0
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2	1	3
50	肥大型心筋症	1	0	1
51	拘束型心筋症	0	0	0
52	ミトコンドリア病	0	0	0
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	0	1	1
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0
55	黄色靭帯骨化症	2	0	2
56	間脳下垂体機能障害	12	5	17

(2) 特定疾患登録者数

平成22年度中に登録された人数

疾患名		男	女	合計
総計		0	3	3
1	(1)ベーチェット病	0	0	0
2	(3)重症筋無力症	0	0	0
3	(4)全身性エリテマトーデス	0	0	0
4	(6)再生不良性貧血	0	0	0
5	(7)サルコイドーシス	0	2	2
6	(9)強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	0	0	0
7	(10)特発性血小板減少性紫斑病	0	0	0
8	(11)結節性動脈周囲炎	0	0	0
9	(12)潰瘍性大腸炎	0	1	1
10	(13)大動脈炎症候群	0	0	0
11	(14)ピュルガー病	0	0	0
12	(15)天疱瘡	0	0	0
13	(17)クローン病	0	0	0
14	(19)悪性関節リウマチ	0	0	0
15	(22)後縦靭帯骨化症	0	0	0
16	(24)モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	0	0	0
17	(25)ウェゲナー肉芽腫症	0	0	0
18	(28)表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0
19	(29)膿疱性乾癬	0	0	0
20	(30)広範脊柱管狭窄症	0	0	0
21	(33)特発性大腿骨頭壊死症	0	0	0
22	(34)混合性結合組織病	0	0	0
23	(36)特発性間質性肺炎	0	0	0
24	(42)バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0	0	0

(3) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された11疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付した。

平成23年3月31日現在

疾患名		受給者証 交付件数
1	第 因子(フィブリノゲン)欠乏症	0
2	第 因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第 因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第 因子(安定因子)欠乏症	0
5	第 因子欠乏症(血友病A)	1
6	第 因子欠乏症(血友病B)	0
7	第 因子(スチュアートプラウア因子)欠乏症	0
8	第 因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	2
10	第 因子(PTA)欠乏症	0
11	第 因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0

3 難病在宅ケア事業

管内における患者の実態を明らかにし、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、在宅ケアを支えていくための医療・保健・福祉を包括したネットワークづくりを目指して各種事業を実施した。

(1) 在宅患者支援システムの構築

ア 難病地域ケア会議(実務者)開催結果について

関係機関との連携を深め、地域に根ざしたネットワークづくりを実践することを目的に会議等を開催した。

開催年月日 病名(場所)	関係機関名	検討内容
平成22年8月19日 ALS (自宅)	在宅介護支援センター介護支援専門員 訪問看護ステーション訪問看護師 名張市地域包括支援センター保健師 伊賀保健福祉事務所保健師 難病医療専門員 家族	・現在の症状と障害の確認について ・介護者への支援について ・具体的な在宅サービス導入について
平成22年8月25日 ALS (名張市立病院)	名張市立病院看護師長 在宅介護支援センター介護支援専門員 伊賀保健福祉事務所保健師 難病医療専門員 家族	・現在の症状と障害の確認について ・介護者への支援について ・緊急時の対応について ・具体的な在宅サービス導入について ・かかりつけ医について
平成22年12月21日 ALS (自宅)	三重大学医学部付属病院神経内科医師 訪問看護ステーション訪問看護師 伊賀保健福祉事務所保健師 難病医療専門員 家族	・現在の症状と障害の確認について ・胃瘻造設について ・症状進行に伴う支援について ・介護者への支援について
平成23年2月15日 ALS (三重大学医学部付属病院)	在宅介護支援センター介護支援専門員 訪問看護ステーション訪問看護師 福祉用具業者 病院:神経内科医師、看護師長、プライマリ看護師、臨床心理士、難病医療専門員 伊賀保健福祉事務所保健師 家族	・退院後の生活について (受診、緊急時の対応、胃瘻管理、痰の吸引、入浴、排泄、口腔ケア、訪問看護、ヘルパー、デイサービス、コミュニケーション、リハビリ、移動等)
平成23年2月23日 ALS (自宅)	在宅介護支援センター介護支援専門員 伊賀保健福祉事務所保健師 難病医療専門員 家族	・現在の症状と障害の確認について ・かかりつけ医について ・緊急時の対応について ・サービス導入について ・長期入院、施設入所について ・延命措置について

イ 個別ケアの充実

(ア) 特定疾患医療受給者証交付申請時における所内面接

申請者の中でも、疾患の理解・治療・予後等について特に不安の強い時期であると予測される新規申請者（特に神経難病患者）に対して、面接により医療や生活面等の相談に応じた。なお、平成22年度の主な神経難病の新規申請者数は次のとおりであった。

主な神経難病の新規認定者数及び相談者

疾患番号	疾患名	新規受給者数
(1)	ベーチェット病	3人
(2)	多発性硬化症	2人
(3)	重症筋無力症	2人
(8)	筋萎縮性側索硬化症	8人
(16)	脊髄小脳変性症	1人
(20)	パーキンソン病関連疾患	22人
(27)	多系統萎縮症	2人

(イ) 家庭訪問

患者や家族、医療機関その他関係機関から依頼のあったケースを中心に家庭訪問を実施し、関係機関と連携して課題の改善のため支援を行った。

訪問は、ケアマネージャーや訪問看護師、難病医療専門員と同行し、関係職種でケースの課題の共有や支援の方向性の確認に努めた。

疾患別訪問実施状況

疾患群	疾患名	延べ件数
神経系疾患	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	15件
	パーキンソン病	2件
	多発性硬化症	1件
	スモン	1件
合計		19件

(ウ) 電話相談・面接相談

在宅療養上の患者や家族の相談や関係機関との連絡調整、また特定疾患申請手続き等に関する相談に対応した。

相談結果

方法	相談内容	延べ件数
電話相談	新規・更新・変更に関すること	256件
	療養相談・制度等	70件
	関係機関との連絡調整	200件
	合計	526件
面接相談	新規・申請・変更に関すること	379件
	療養相談・制度等	25件
	関係機関との連絡調整	19件
	合計	423件

ウ 在宅医療・介護相談事業

(ア) 訪問療養相談

在宅で寝たきり状態であるために、長期間にわたり専門医の診察や福祉サービス利用・栄養相談等療養上の相談を受けることが困難な患者及び家族に対し、療養生活が適切に行われるよう、医療・福祉等の専門職による訪問療養相談を実施した。

訪問療養相談実施結果

開催月日	平成22年6月15日(火)	平成22年12月21日(火)
対象者	ALSの患者と家族 1件	ALSの患者と家族 1件
スタッフ	三重大学医学部附属病院医師 介護支援専門員 訪問看護師 保健福祉事務所保健師	三重大学医学部附属病院医師 訪問看護師 社会福祉協議会介護支援専門員 保健福祉事務所保健師

エ 事例検討会・研修会等

(ア) 事例検討会

難病患者が在宅療養するうえでの様々な課題に対し、保健・医療・福祉の関係者が集まり、患者のQOL向上や関係者の役割等を明確にすることを目的として事例検討会を開催した。

事例検討会実施状況

開催日・病名・場所	関係機関名	検討内容
平成22年5月19日 突発性拡張(うっ血型)心筋症 (自宅)	名張市地域包括支援センター保健師 伊賀保健福祉事務所保健師	・現在の症状と障害の確認について ・かかりつけ医について
平成22年6月24日 多発性硬化症 (自宅)	名張市地域包括支援センター保健師 名張市障害者相談センター相談員 伊賀保健福祉事務所保健師	・現在の症状と障害の確認について ・疾患の理解について ・症状の悪化防止、再発防止について
平成22年8月9日 突発性拡張(うっ血)心筋症 (自宅)	名張市地域包括支援センター保健師 伊賀保健福祉事務所保健師	・現在の症状と障害の確認について ・サービスの導入について ・緊急時の対応について

(イ) 研修会等

開催日・場所	内容	参加者
平成23年2月16日 県伊賀庁舎	講演:「難病の基礎知識」 ～多発性硬化症、慢性炎症性脱髄性多発性 筋炎について～ 講師:三重大学医学部附属病院神経内科医師	74名 伊賀管内の介護支援専門員、訪問看護師、訪 問介護員、行政など在宅支援関係者

34107 医療分野の人材確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

医療分野の人材確保のため、医療系・福祉系の学生に対し、保健福祉事務所(保健所等)実習指導を実施します。

1 看護学生等保健所実習指導

平成23年3月31日現在

学 校 名	学 生 数	グループ数	実習日数	備考
三重県立看護大学	3	1	8	
三重大学医学部看護学科	6	1	10	
鈴鹿医療科学大学医療栄養学 科	5	1	5	
合計	14	3	23	

(実習日数に全員オリエンテーション含む)



343 高齢者保健福祉の推進
34301 介護保険制度の円滑な運営
 (主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 介護認定審査会委員の現任者に対し、資質向上をめざした現任者向け研修を実施します。
2. 介護サービス提供事業者に対し、新規・変更・更新指定申請時に必要な指導、助言を行い、介護サービスの質の確保に努めます。
3. 介護サービス利用者の尊厳の保持、能力に応じた自立支援、並びにQOLの向上を支援します。

1 介護保険制度

介護保険制度の創設(H12.4.1)

高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして、共同連帯の理念に基づく社会保険方式により、民間活力を導入した介護保険制度が創設されました。更に、サービス利用者の立場に立った制度として、従来の老人福祉法を中心とした地方公共団体の「措置」から、介護サービス提供者と利用者との自由意思による「契約」へと転換されました。

介護保険制度の見直し(H18.4.1施行)

主な改正点は以下のとおりです。

* 予防重視型システムへの転換としての予防給付、地域支援事業の創設

* 施設給付の見直しとしての食費、居住費の利用者負担

(当該改正のみH17.10.1施行)

* 新たなサービス体系の確立としての地域密着型サービス、地域包括支援センターの創設

* サービスの質の向上としての情報開示の標準化と事業所規制の見直し

上記に記載の外、国の基本指針に即し、県においては介護保険事業支援計画で、圏域ごとの施設サービス定員(利用)総数等の必要事項を、また、各市においては介護保険事業計画で、介護サービスの種類ごとのサービス量と方策等の必要事項をそれぞれ定めることとしています。

現行の各計画は、平成21年度～平成23年度の第4期計画です。

(1)実施主体数 2保険者

- ・伊賀市
- ・名張市

(2)要介護認定者の状況

平成23年4月1日現在

保険者	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢 化 率(%)	要介護認定者数(人)							
				合計	要支援		要介護				
					1	2	1	2	3	4	5
伊賀市	99,726	26,505	26.6	6,323	864	949	1,163	1,143	791	750	663
名張市	82,358	18,776	22.8	3,090	278	500	532	591	438	432	319
合計	182,084	45,281	24.9	9,413	1,142	1,449	1,695	1,734	1,229	1,182	982

(3) 介護度別居宅介護サービス受給者数 平成23年4月1日現在

保険者	要支援 1	要支援 2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
伊賀市	239	357	704	804	499	363	230	3,196
名張市	149	312	340	416	242	199	128	1,786
合計	388	669	1,044	1,220	741	562	358	4,982

(4) 施設種別サービス受給者数 平成23年4月1日現在

保険者	介護老人福祉施設	介護老人保健 施設	介護療養型医療 施設	計
伊賀市	525	380	29	934
名張市	326	213	39	578
合計	851	593	68	1,512

(5) 指定居宅・施設介護支援事業者数 平成23年4月1日現在

	事業者数	備考(定員)
訪問介護	50	
訪問入浴介護	4	
訪問看護	11	
通所介護	52	
通所リハビリテーション	9	
短期入所生活介護	15	
福祉用具貸与	5	
特定福祉用具販売	6	
特定施設入所者生活介護	2	
指定介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	15	869人
介護老人保健施設 (老人保健施設)	6	588人
介護療養型医療施設 (療養型病床群)	1	40人
介護予防訪問介護	50	
介護予防訪問入浴介護	4	
介護予防訪問看護	10	
介護予防通所介護	53	
介護予防通所リハビリテーション	7	
介護予防短期入所生活介護	14	
介護予防福祉用具貸与	5	
介護予防特定福祉用具販売	6	
介護予防特定施設入所者生活介護	1	

(6) 介護保険審査会

要介護認定に関する審査請求については、介護保険審査会の公益代表委員3名からなる合議体において審理され、裁決が行われます。

平成22年度の審査請求の状況

	審査請求年月日	審査会開催日	裁決	備考
1	平成22年12月19日	平成23年3月9日	棄却	

34302 介護基盤の整備促進とサービスの質の向上
(主担当: 保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 「みえ高齢者元気・かがやきプラン」(第4期三重県介護保険事業支援計画・第5次三重県高齢者福祉計画)に基づき、年度別に地域の実情を勘案して、老人保健福祉施設の整備を進めます。
2. 利用者の視点に立った、質の高い高齢者福祉サービスを提供できる人材の確保と地域ケア体制の整備を進めます。

1 老人保健福祉施設の設置状況

平成23年4月1日現在(単位: 施設数・定員)

	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	養護老人ホーム	老人福祉センター	特定施設入居者生活介護	老人憩の家	有料老人ホーム
伊賀市	9(529人)	4(440人)	0	3	1	1	1	0
名張市	6(340人)	2(148人)	1(40人)	1	2	1	1	1
計	15(869人)	6(588人)	1(40人)	4	3	2	2	1

34303 在宅生活支援体制の充実

(主担当: 保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 高齢者に対して、介護予防や居宅における自立した日常生活の支援、又は居宅復帰の支援を関係機関と連携して実施していきます。

1 老人福祉施設

平成23年4月1日現在

施設の種別	施設名	市名	定員	ショートステイ
養護老人ホーム	恒風寮	伊賀市	50	
	梨ノ木園	伊賀市	70	
	偕楽荘	伊賀市	50	
	みさと園	名張市	50	
特別養護老人ホーム	第二梨ノ木園	伊賀市	50	20
	福寿園	伊賀市	80	20
	彩四季	伊賀市	60	28
	さわやか園	伊賀市	80	20
	ぬくもり園	伊賀市	50	20
	いがの里	伊賀市	50	20
	鶴寿園	伊賀市	80	4
	森の里	伊賀市	50	20
	おおぞら (市指定)	伊賀市	29	21
	名張特別養護老人ホーム	名張市	50	20
	国津園	名張市	80	4
	はなの里	名張市	50	20
	グリーントピア名張	名張市	30	20
	第2はなの里	名張市	50	30
第3はなの里	名張市	80	30	
老人福祉センター	島ヶ原老人福祉センター(特A型)	伊賀市		
	一ノ井老人福祉センター(B型)	名張市		
	名張市老人福祉センターふれあい(特A型)	名張市		
ケアハウス	おおぞら	伊賀市	50	
	グリーントピア名張	名張市	30	
	はなの里	名張市	20	
	第2はなの里	名張市	30	

施設の種別	施設名	市名	定員	ショートステイ
デイサービスセンター	デイサービスセンター彩四季	伊賀市		
	ふくじゅえんデイサービスセンター	伊賀市		
	社会福祉法人敬親会指定通所介護事業所いがのしろ	伊賀市		
	老人デイサービスセンターなしのき	伊賀市		
	デイサービスセンターふれあい	伊賀市		
	通所・デイサービスセンター「はつらつ」	伊賀市		
	デイサービスセンター「おおぞら」	伊賀市		
	デイサービスセンター「かわい」	伊賀市		
	デイサービスセンターさくら	伊賀市		
	特定非営利活動法人 伊賀の友	伊賀市		
	デイサービスセンターやすらぎの家	伊賀市		
	医療法人佐那具医院 老人デイサービスセンターさなぐ	伊賀市		
	デイサービスセンターみやま	伊賀市		
	デイサービスセンターあやま	伊賀市		
	愛宕なごみの家	伊賀市		
	通所デイサービスセンター「ほほえみ」	伊賀市		
	デイサービスセンターしまがはら	伊賀市		
	おおやまだデイサービスセンター鶴寿園	伊賀市		
	おおやまだデイサービスセンター「さるびの」	伊賀市		
	あやま老人デイサービスセンター	伊賀市		
	愛の里デイサービスセンター	伊賀市		
	特定非営利活動法人 ふれあいステーション都美恵	伊賀市		
	特定非営利活動法人 ふれ合い広場アットホーム	伊賀市		
	地域デイサービスセンター山畑	伊賀市		
	地域デイサービスセンター岡鼻	伊賀市		
	通所・デイサービスセンター「まごころ」	伊賀市		
	デイサービスセンターあおやま森の里	伊賀市		
	デイサービスセンターあおやま百々	伊賀市		
	特定非営利活動法人 憩いの家たんぼぼ	伊賀市		
	デイサービスセンター島ヶ原ひばりの里	伊賀市		
	デイサービスセンター虹のいえ	伊賀市		
	デイサービスセンターはあとハウスあおやま	伊賀市		
	デイサービスセンターかすが	伊賀市		
	デイサービスお花畑	伊賀市		
	地域デイサービスセンター猿野	伊賀市		
	デイサービスたまたき	伊賀市		
	在宅複合型施設グリーンピア名張	名張市		
	社会福祉法人名張市社会福祉協議会通所介護事業所「ふれあい」	名張市		
	老人デイサービスセンターはなの里	名張市		
	デイサービスセンター国津園	名張市		
	デイサービス そらまめ	名張市		
	デイサービス 赤目の森	名張市		
	通所デイサービスセンター「伊賀の里」	名張市		
	近鉄スマイル桔梗が丘ケアセンター	名張市		
	デイサービス事業所「こころ」	名張市		
	医療法人梅川クリニック 指定通所介護八番町ゆうゆうくらぶ	名張市		
	デイサービス青蓮寺	名張市		
デイサービス 宴	名張市			
デイサービス第2はなの里	名張市			
デイサービスとんぼ池	名張市			
デイサービスそらまめ希中央	名張市			
通所介護事業所「ことのは」	名張市			
リハビリデイサービス楓	名張市			

344 障がい者保健福祉の推進
34401 障害者自立支援法制度の円滑な推進
 (主担当:保健衛生室 企画福祉課)

主な取組内容

1. 2006年度の障害者自立支援法施行による障害福祉サービスに関する制度変更を受け、各市と協働し効率的な実施体制の整備をはかります。
2. 障がい者および家族が、安心して地域生活をおくるための居宅介護などの訪問系サービス、生活介護等の日中活動系サービスを適切に利用できるよう、相談支援体制の充実やサービス提供基盤の整備促進を行います。

1 障がい者福祉

障害者自立支援法の円滑な移行と適正な運用のため、各市や関係機関との調整を行うための圏域自立支援協議会を隔月開催した。

(1) 身体障がい者福祉

各市に対して、障害者相談支援センターとの連携による技術的援助や広域的調整を行うとともに、多様化する福祉ニーズに対応できるよう支援した。

身体障害(児)者手帳所持者の状況

平成23年4月1日現在

種別		視覚障害	聴覚障害	音声言語障害	肢体不自由	内部障害	計
伊賀市	児	4	6	0	37	11	58
	者	390	505	63	2,867	1,028	4,853
	小計	394	511	63	2,904	1,039	4,911
名張市	児	6	7	2	26	10	51
	者	189	310	36	1,645	737	2,917
	小計	195	317	38	1,671	747	2,968
管内計	児	10	13	2	63	21	109
	者	579	815	99	4,512	1,765	7,770
	計	589	828	101	4,575	1,786	7,879

(2) 知的障がい者福祉

福祉ニーズの把握や資源の活用に努め、障がい者が種々の福祉サービスを利用できるように、地域生活支援センターとの連携を図りながら相談に応じ、必要な調整・助言を行っていく。

療育手帳所持者の状況

平成23年4月1日現在

	A(最重度・重度)			B(中度・軽度)			合計		
	児	者	小計	児	者	小計	児	者	合計
伊賀市	55	235	290	94	241	335	149	476	625
名張市	43	200	243	115	193	308	158	393	551
計	98	435	533	209	434	643	307	869	1,176

(3) 管内の障がい福祉施設(居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業所を除く)

児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、運営要綱等に基づく施設

平成23年4月1日 現在

施設の種類	施設等の名称	所在地	定員
点字図書館	上野点字図書館	伊賀市	—
盲人ホーム	伊賀市盲人ホーム	伊賀市	20 (通所)
知的障害児施設	こどもライフサポートセンター はーと	名張市	30
知的障害者通所授産施設	伊賀市授産施設 きらめき工房青山分場	伊賀市	15
	上野ひまわり作業所	伊賀市	20
	伊賀市授産施設 きらめき工房	伊賀市	20

障害者自立支援法による障害福祉サービス事業所

平成23年4月1日 現在

サービスの種類	事業所名	対象者	市名	定員
生活介護	多機能型事業所 かしの木ひろば	身体・知的	伊賀市	20
	ふっくりあフウス	特定無し	伊賀市	8
	身体障害者支援施設 梨丘園	身体	伊賀市	20
	工房楽々あやま	特定無し	伊賀市	6
	青蓮寺オーラック	身体・知的	名張市	20
	指定障害者支援施設 「身体障害者支援施設 はなの里」	身体	名張市	28
	KoBoれもんぐらす	特定無し	名張市	15
	ききょうの家	特定無し	名張市	34
	とも	特定無し	名張市	20
	もみじの家	特定無し	名張市	6
	太陽作業所	知的・精神	伊賀市	9
	生活介護事業所「ふいお～ゆ～」	身体・知的	名張市	20
	名張育成園 成峯	特定無し	名張市	60
	名張育成園 成美	特定無し	名張市	55
	名張育成園 デイセンター ういず	特定無し	名張市	23
児童デイ	療育センター どれみ	児童	名張市	10
	なちゅ	児童	名張市	10
	ゆうら	児童	名張市	10
短期入所	身体障害者療護施設 梨丘園	身体	伊賀市	2
	ふっくりあハウ 短期入所事業所	特定無し	伊賀市	5
	指定障害者短期入所事業所 「身体障害者支援施設はなの里」	身体・児童	名張市	2
	名張育成園 成峯	特定無し	名張市	10
	名張育成園 成美	特定無し	名張市	10
	こどもライフサポートセンターはーと	児童	名張市	6
	名張育成園 レインボークラブ	精神	名張市	3
医療法人寺田病院	身体	名張市	空床型	
就労移行支援	びいはいぶ	特定無し	伊賀市	6
	レインボークラブ	特定無し	名張市	12
	かもんかもん(希望の苑 浩洋会)	知的・精神	伊賀市	20
就労継続支援A型	かもんかもん(輝きの森 浩洋会)	知的・精神	伊賀市	10
	ばとな	特定無し	伊賀市	20
就労継続支援B型	工房楽々あやま	特定無し	伊賀市	14
	ふっくりあハウ	特定無し	伊賀市	20
	サンフラワー名張ファクトリー	身体・知的	名張市	20
	KoBoれもんぐらす	特定無し	名張市	15
	とも	特定なし	名張市	10

(休止中)

障害者自立支援法による障害福祉サービス事業所

平成23年4月1日 現在

サービスの種類	事業所名	対象者	市名	定員
就労継続支援B型	ほっぷ (「とも」の従たる事業所)	特定無し	名張市	10
	レインボークラブ	特定なし	名張市	20
	もみじの家	特定無し	名張市	30
	あらかさ(津市「笠取の里」の従たる事業所)	特定無し	伊賀市	10
	アイコラボレーション伊賀	身体	伊賀市	20
	ひいはいば	特定無し	伊賀市	14
	太陽作業所	知的・精神	伊賀市	30
	赤目の森作業所	特定無し	名張市	20
	ワークセンターきずな	特定無し	伊賀市	20
	かもんかもん(新生の島浩洋会)	知的・精神	伊賀市	10
	多機能型事業所かしの木ひろば	身体・知的	伊賀市	10
	花みどりの里	特定無し	名張市	20
	丸之内レインボークラブ	特定無し	名張市	10
	自立(生活)訓練	ふっくりあふウス	特定無し	伊賀市
共同生活介護	阿山ホーム(かざぐるま)	知的・精神	伊賀市	5
	伊賀ホーム(ほほえみ)	知的	伊賀市	5
	ふっくりあミニボ	知的・精神	伊賀市	5
	ココウット	知的・精神	伊賀市	7
	くらしサポート ゆっくり	知的	名張市	73
	KoBoれもんぐらす	知的	名張市	11
	コテージ名張	知的	名張市	5
	共同生活介護事業所「ほっと」	身体・知的	名張市	7
	ケアホーム昴会	特定無し	伊賀市	14
施設入所支援	指定障害者支援施設 梨丘園	身体	伊賀市	20
	指定障害者支援施設 「身体障害者支援施設はなの里」	身体	名張市	20
	名張育成園 成峯	特定無し	名張市	60
	名張育成園 成美	特定無し	名張市	55
指定相談支援	伊賀市障がい者相談支援センター	特定無し	伊賀市	—
	指定身体障害者相談支援事業 「身体障害者生活支援センターはなの里」	身体	名張市	—
	地域生活支援センター ぱれっと	知的・児童	名張市	—

34404 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 地域精神保健福祉活動を推進するため、市および関係機関に対し専門的立場から技術指導および技術支援を行います。
2. 精神障がい者の療養、社会復帰等に対する相談、指導、援助を行います。
3. 精神障がい者の地域生活をサポートするためのネットワークづくりを行います。
4. 地域住民に対し精神障害に対する正しい知識を普及啓発を行います。

1 精神保健福祉事業

(1) 精神保健医療対策

ア 精神保健措置事業

目的 医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷、他害の行為を防ぐ。

(ア) 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況 平成23年3月31日現在

区 分	小計	法29条該当	法29条非該当	診察不要
計	19	3	15	1
法23条申請	0	0	0	0
法24条通報	19	3	15	1

・法第23条申請(診察及び保護の申請) ・法第24条通報(警察官の通報)

(イ) 取扱措置入院患者数

平成23年3月31日現在

	計	男	女
第29条措置新規	3	1	2
第29条措置解除	3	1	2
第29条措置在院者数	0	0	0

イ 自立支援医療(精神通院医療)

目的 精神障がいへの適正な医療を普及するため、精神障がい者の通院治療について医療費の公費負担をする。

自立支援医療費(精神通院)受給者賞の有効期間:1年間

(ア) 市別患者票発行件数 平成23年3月31日現在

市町名	発行件数
伊賀市	1,218
名張市	1,112
計	2,330

(2) 精神障害者地域生活支援事業

ア 精神障害者保健福祉手帳交付

目的 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図る。
精神障害者保健福祉手帳の有効期間:2年間

(ア) 市別等級別精神障害者保健福祉手帳交付状況 平成23年3月31日現在

		伊賀市	名張市	計
障害 等級	1	47	74	121
	2	254	321	575
	3	90	168	258
計		391	563	954

イ 精神保健相談及び保健師の相談

目的 一般住民や精神障害者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療につなげるとともに、精神障害者の地域生活の支援、社会復帰を促す。

(ア) 相談件数

相談の 区分	精神保健相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設 状況	毎月第4金曜日 14:00～16:00	随時	随時	随時
相談 延件数	28	83	87	462

ウ 知識の普及と啓発

目的 地域住民に対して、精神障害の正しい知識を普及啓発するとともに、精神障害者の地域における身近な支援者を育成する。

(ア) 精神保健福祉研修会・精神保健福祉ボランティアの継続研修

対象: 精神保健福祉ボランティア教室終了者
開催日 平成22年12月15日(木)
場 所: 伊賀庁舎
内 容: 講演「こころに寄り添う～援助と自立～」
講 師: 飛騨千光寺 住職 大下 大圓 氏 (参加者122名)
* こころの健康づくり研修会との合同開催

(イ) 地域交流会

対象: 管内精神障害者通所施設・家族会・ボランティア等
開催日 平成22年10月14日(金)
場 所: 伊賀市青山グランド
内 容: 「伊賀圏域グランドゴルフ大会」(参加者:62名)

対象: 関係機関等
開催日 平成22年7月6日(水) (参加者8名)
平成22年10月5日(火) (参加者7名)
場 所: 伊賀庁舎
内 容: 地域交流会打ち合わせ会議

工 精神障害者支援体制の整備

(ア) 伊賀地域精神保健福祉連絡協議会

目的 精神障がい者の地域における生活の支援及び社会参加の促進を図るため、関係機関の連携を強化し、地域ケアの充実について検討する。

開催日	内容	場所	参加者
平成22年 4月27日	「精神保健福祉手帳・自立支援医療の概要」 講師 伊賀保健福祉事務所 主幹 麻田 道典 「精神疾患をとりまく状況」 講師 伊賀保健福祉事務所 主幹 中尾 裕美	県伊賀庁舎	関係機関職員 24名
平成22年 10月15日	「危機介入の必要な精神症状(状態像)とその対応について」 講師 上野病院 精神保健指定医 林 竜也 氏	県伊賀庁舎	関係機関職員 22名
平成23年 3月18日	「困難事例の対応について」 助言者 上野病院 精神保健指定医 林 竜也 氏	県伊賀庁舎	関係機関職員 12名

(イ) 伊賀圏域自立支援協議会(精神障がい者地域移行支援事業部会)

目的 伊賀市、名張市のそれぞれの地域移行支援事業・自立支援協議会(精神部会)の情報交換、共通課題の検討をする。

参加者 伊賀市障がい福祉課、名張市高齢・障害支援室、各市地域移行支援事業委託事業所、上野病院、保健所

開催日	内容	場所	参加者
平成22年 4月19日	部会の位置づけと本年度の進め方について確認。 各市からの報告(ケース報告)	県伊賀庁舎	13名
平成22年 6月21日	各市からの報告(ケース報告) 地域移行支援事業PRについて	県伊賀庁舎	8名
平成22年 8月16日	各市からの報告(ケース報告) 地域移行支援事業について(PRについて、地域移行支援事業聞き取り報告)	県伊賀庁舎	12名
平成22年 10月4日	各市からの報告(ケース報告) 地域移行支援事業(事例の振り返り、今後の部会活動について、患者対象の地域施設見学について)	県伊賀庁舎	11名
平成21年 12月20日	各市からの報告(ケース報告) 地域移行支援事業について(今後の部会活動について、地域の課題について)	県伊賀庁舎	8名
平成23年 2月21日	各市からの報告(ケース報告・本年度の事業について) 地域移行支援事業について(本年度の取り組みのまとめ、今後の活動について)	県伊賀庁舎	8名

* 部会の取り組み内容

地域移行支援事業DVD作成、病院への啓発(8病院)、こころしつとこ学会での発表、地域見学ツアー、先進地視察(大阪 ぼちぼちくらぶ、地域生活支援センターすいすい)

(ウ) 関係機関の支援

目的 市町村及び関係職員の精神障害に対する知識と理解を深め、地域における精神保健福祉サービスの充実を図る。

市障害者相談支援センター・地域包括支援センター等のケース検討会等への参加 18ケース

精神障がい者に関わる連絡会・協議会参加

伊賀市	自立支援協議会精神保健部会	12回
	人権フォーラムでの啓発	1回
	事業所交流会(クリスマス会)	1回
	地域交流フォーラム(当事者交流)	1回
名張市	自立支援協議会地域移行支援事業部会	3回
	精神保健福祉関係職員連絡会	12回
	地域移行支援事業ケース検討会	12回
	地域交流会(大学生と当事者の交流会)	1回

(3) 精神障害者社会復帰推進事業

ア 通院患者リハビリテーション事業

目的 通院治療中の精神障がい者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い、再発防止と社会的自立を促進する。

伊賀管内の登録事業所 8事業所 平成23年3月31日現在

事業所名	住所
大西水耕栽培	伊賀市朝屋バンヤ1197-1
萬成水耕栽培	伊賀市長田字垣内2063-1
旅館いち利喜	伊賀市生琉里2896-7
緑生園(花みどりの里)	伊賀市桂1532
緑生園(フラワーランド)	名張市上小波田1797
岸田工務店	伊賀市久米町166-1
はあとの杜うえの	伊賀市緑ヶ丘本町1606
日本ボックス	伊賀市桑町1794

平成22年度中の利用者 13名(内3名就労、1名終了、3名中断)



保健福祉事務所年報(平成23年版)

平成24年1月発行

三重県伊賀保健福祉事務所

〒518-8533 伊賀市四十九町2802番地

電話番号 0595 - 24 - 8070(代表)

ファックス番号 0595 - 24 - 8085